Infectious Diseases Weekly Report JAPAN
IDWR
2007年第38週（9月17日～9月23日）：通巻第9巻第38号
感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律
感染症発生動向調査
感染症週報
厚生労働省／国立感染症研究所

マークをクリックするとそのページを見ることができます

発生動向総覧 P.2-4
＜第38週＞百日咳の定点当たり報告数は横ばいであったが、過去5年間の同時期と比較してかなり多い／その他最新動向

注目すべき感染症
＜今週は該当記事はありません＞

病原体情報 P.5-8
ヒトから検出されているVero毒素産生性大腸菌 2007年／ヘルパンギーナ患者から検出されているウイルス 2007年／B群コクサッキーウイルス5型 2007年

速報 P.9-15
劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1999年（4月）～2006年／2007年シーズンにおけるヘルパンギーナ患者および手足口病患者からのエンテロウイルス検出状況－神奈川県

海外感染症情報 P.16-17
コンゴ民主共和国でエボラ出血熱流行／イラクでのコレラ流行

感染症の話 P.18
＜今週はお休みです＞

読者のコーナー
＜今週は該当記事はありません＞

グラフ総覧（38週） P.19-25

38週のデータ P.26-38

発生動向総覧

※2007年4月からの法改正に伴い、疾病の追加および並び順を一部変更しました。

＜第３８週コメント＞9月２７日集計分

◆全数報告の感染症

注意:これは**当該週に診断**された報告症例の集計です。しかし、迅速に情報還元するために期日を決めて集計を行いますので、当該週に診断された症例の報告が集計の期日以降に届くこともあります。それらについては一部を除いて発生動向総覧では扱いませんが、翌週あるいはそれ以降に、巻末の表の累積数に加えられることになります。

※感染経路、感染原因、感染地域については、確定あるいは推定として記載されていたものを示します。

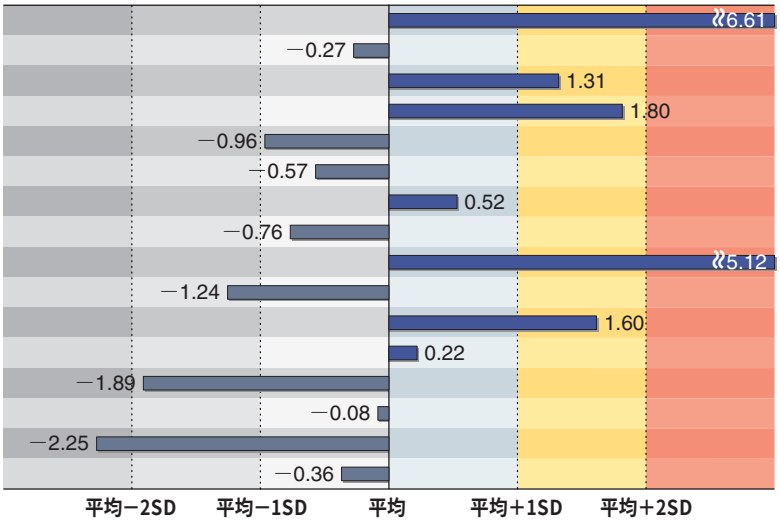
1類感染症:報告なし
2類感染症:**結核** 173例
3類感染症:**細菌性赤痢** 3例(感染地域:すべて中国)
腸管出血性大腸菌感染症 94例(うち有症者70例、うちHUS 9例、死亡なし)
感染地域:国内93例、韓国1例
国内の多い感染地域:愛知県(12例)、大阪府(8例)、福岡県(7例)、兵庫県(7例)
年齢群:10歳未満(37例)、10代(14例)、20代(20例)、30代(9例)、40代(1例)、50代(8例)、60代(3例)、70歳以上(2例)
血清型・毒素型:O157 VT1・VT2(44例)、O157 VT2(18例)、O26 VT1(7例)、O111 VT1(5例)、O157 VT1(3例)、O26 VT1・VT2(2例)、O103 VT1(2例)、O111 VT1・VT2(2例)、O121 VT2(1例)、O128 VT2(1例)、O145 VT1(1例)、O165 VT2(1例)、その他/不明(7例)
腸チフス 4例(感染地域:インドネシア3例、バングラデシュ1例)
4類感染症:**A型肝炎** 2例(感染地域:インド1例、インドネシア1例)
デング熱 9例(デング熱8例、デング出血熱1例)
感染地域:インド2例、カンボジア2例、ジャマイカ1例、フィリピン1例、タイ/カンボジア2例、インドネシア/台湾1例)
日本紅斑熱 3例(感染地域:広島県1例、宮崎県1例、鹿児島県1例)
マラリア 1例(三日熱__感染地域:ホンジュラス)
ライム病 1例(感染地域:北海道)
レジオネラ症 9例(肺炎型8例、無症状病原体保有者1例)
年齢群:40代1例、50代1例、60代4例、70代2例、80代1例
感染地域:静岡県2例、宮城県1例、栃木県1例(温泉)、東京都1例、神奈川県1例、長野県1例、愛媛県1例、国内(都道府県不明)1例
5類感染症:**アメーバ赤痢** 5例(すべて腸管アメーバ症)
感染地域:国内4例、インドネシア/ベトナム1例
感染経路:経口2例、不明3例
ウイルス性肝炎 1例(B型__感染経路:不明)
劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1例(80代)
後天性免疫不全症候群 22例(無症候15例、AIDS 5例、その他2例)
感染地域:国内19例、国外(国不明)3例
感染経路:性的接触20例(異性間5例、同性間15例)、静注薬物常用/性的接触(異性間)1例、不明1例
ジアルジア症 1例(感染地域:国内)
梅毒 9例(早期顕症I期2例、早期顕症II期3例、無症候4例)
破傷風 1例(80代)
バンコマイシン耐性腸球菌感染症 1例(遺伝子型不明__菌検出検体:尿)

(補)他に第37週までに診断されたものの報告遅れとして、オウム病2例(感染地域:ともに青森県．感染源:ともにセキセイインコ)、日本紅斑熱3例(感染地域:兵庫県2例、島根県1例)、レプトスピラ症1例(感染地域:静岡県．死亡)、急性脳炎2例〔病原体不明2例(1歳、2歳)〕、劇症型溶血性レンサ球菌感染症4例(40代1例、50代1例、60代2例)等の報告があった。

◆定点把握の対象となる5類感染症

全国の指定された医療機関(定点)から報告され、疾患により小児科定点(約3,000カ所)、インフルエンザ(小児科・内科)定点(約5,000カ所)、眼科定点(約600カ所)、基幹定点(約500カ所)に分かれています。また、定点当たり報告数は、報告数/定点医療機関数です。

定点把握疾患の報告の過去5年間の同時期との比較(第38週)



	定点当たり報告数
インフルエンザ	0.08
咽頭結膜熱	0.23
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.77
感染性胃腸炎	2.94
水痘	0.42
手足口病	0.77
伝染性紅斑	0.18
突発性発しん	0.72
百日咳	0.03
風しん	0.00
ヘルパンギーナ	0.98
麻しん	0.01
流行性耳下腺炎	0.26
急性出血性結膜炎	0.02
流行性角結膜炎	0.70
マイコプラズマ肺炎	0.22

SD:標準偏差

当該週と過去5年間の平均(過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均)との差をグラフ上に表現した。

インフルエンザ:定点当たり報告数は減少したが、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してかなり多い。都道府県別では沖縄県(5.38)、香川県(0.13)、静岡県(0.10)が多い。

小児科定点報告疾患:**RSウイルス感染症**は299例の報告があり、報告数は第33週以降増加が続いている。年齢別では、1歳以下の報告数が全体の約78%を占めている。**咽頭結膜熱**の定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別では高知県(1.17)、広島県(0.72)、富山県(0.48)、長崎県(0.48)が多い。**A群溶血性レンサ球菌咽頭炎**の定点当たり報告数は減少したが、過去5年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別では鳥取県(2.53)、大分県(1.94)、秋田県(1.43)、山形県(1.43)が多い。**感染性胃腸炎**の定点当たり報告数は減少したが、過去5年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別では島根県(7.0)、大分県(6.6)、福井県(5.0)、宮崎県(5.0)が多い。**水痘**の定点当たり報告数は横ばいであった。都道府県別では大分県(1.03)、高知県(0.73)、青森県(0.69)、石川県(0.69)、宮崎県(0.69)が多い。**手足口病**の定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別では山形県(2.9)、秋田県(2.8)、宮城県(2.6)、岩手県(2.6)が多い。**伝染性紅斑**の定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別では新潟県(0.59)、長野県(0.58)、宮城県(0.48)が多い。**百日咳**の定点当たり報告数は横ばいであったが、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別では栃木県(0.09)、千葉県(0.09)、広島県(0.07)が多い。**風しん**の報告数は7例と微減した。都道府県別では北海道、千葉県、東京都、長野県、愛知県、大阪府、岡山県から各1例の順であった。**ヘルパンギーナ**の定点当たり報告数は第31週以降減少が続いているが、過去5年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別では新潟県(3.2)、山形県(2.5)、静岡県(2.4)、宮城県(2.3)が多い。**麻しん**の報告数は2週連続で減少し、10都道府県から31例の報告があった。都道府県別では福岡県16例、大阪府、広島県から各3例、神奈川県、愛知県から各2例、北海道、千葉県、東京都、京都府、高知県から各1例の順であった。**流行性耳下腺炎**の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では高知県(0.80)、大分県(0.67)、秋田県(0.63)が多い。

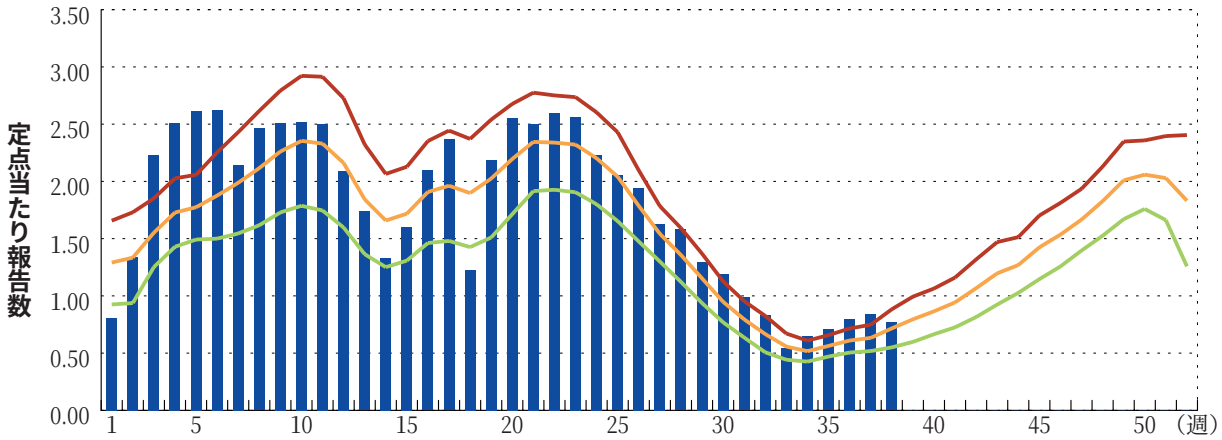
基幹定点報告疾患:**マイコプラズマ肺炎**の定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別では岡山県(1.80)、福島県(1.71)、沖縄県(1.00)が多い。**成人麻しん**の報告数は増加し、7都県から10例の報告があった。都道府県別では、宮城県、愛知県、愛媛県から各2例、秋田県、群馬県、東京都、長崎県から各1例の順であった。

図. 主要定点把握疾患の過去5年間との週別比較(2007年第1～38週)

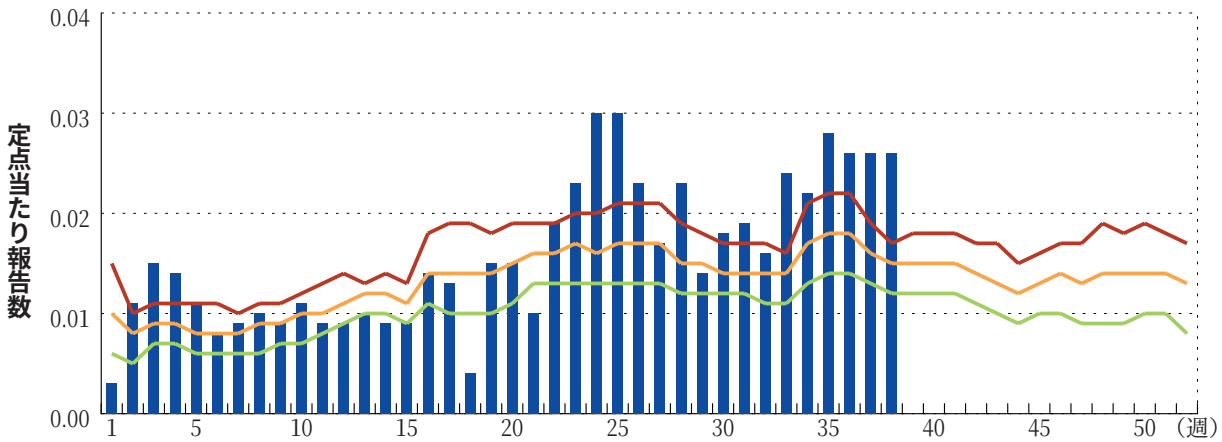
青のバーで示す本年の定点当たり報告数が赤のラインを超えているときには、過去5年間の週と比較してかなり多いことを示す。

*過去5年間の平均:前週、当該週、後週の合計15週の平均

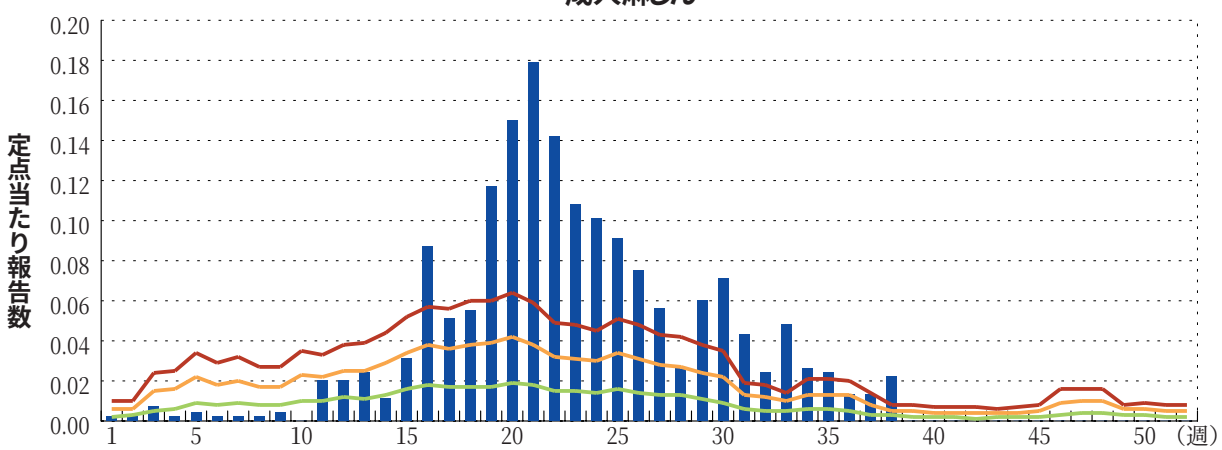
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



百日咳



成人麻しん



病原体情報

＊グラフはIASRホームページ(http://idsc.nih.go.jp/iasr/index-j.html)からの引用です。

各都道府県市の地方衛生研究所(地研)からの検出報告です。週別の報告数は、病原体が分離・検出された検体の採取日による週ごとの報告数です。地域別の報告数は、その地域に所在する地研からの総報告数を都道府県別に示しています。

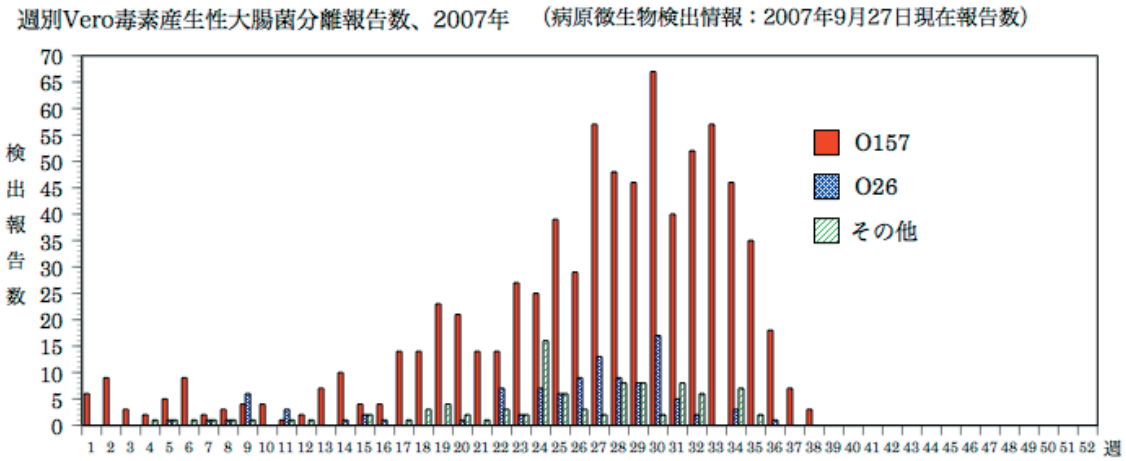
(2007年9月27日現在報告分)

◆ヒトから検出されているVero毒素産生性大腸菌　2007年

2007年の検出総数は980件で、O157が36道府県から780件、O26が21府県から106件、その他の血清型が25都道府県から94件報告されている。

直近の4週間(2007年第35～38週)では、O157が富山県40件、茨城県7件、群馬県5件、青森県4件、徳島県2件など10県から63件、O26が長崎県から1件、その他の血清型が山形県、広島県から各1件報告されている。

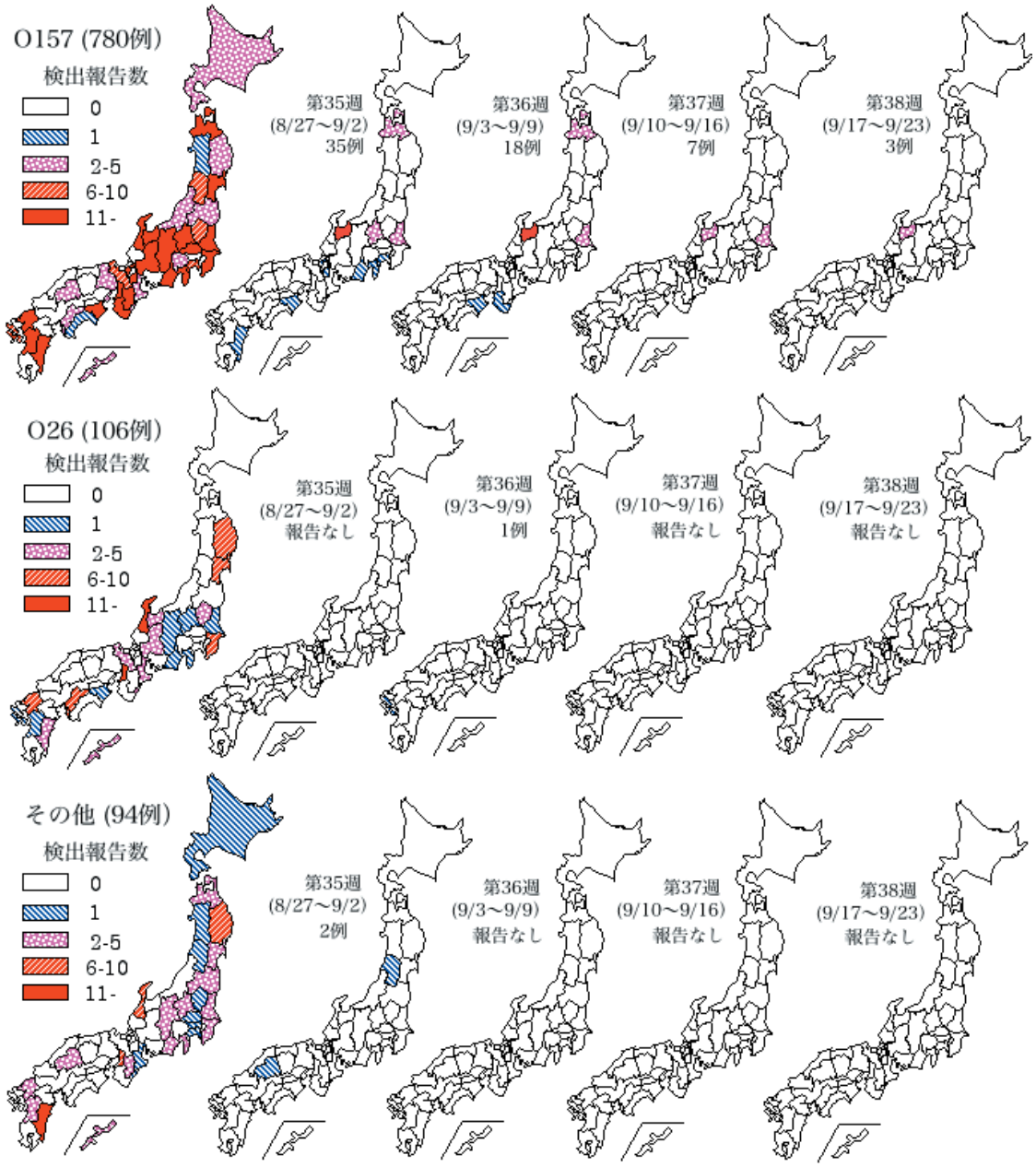
また、集団発生事例として、富山県から第34～36週に飲食店でのO157:H7による1事例が報告されている。



＊各都道府県市の地方衛生研究所からの分離／検出報告を図に示した

IASR
Infectious Agents Surveillance Report

都道府県別Vero毒素産生性大腸菌分離報告状況、2007年
(病原微生物検出情報：2007年9月27日現在報告数)



＊各都道府県市の地方衛生研究所からの分離／検出報告を図に示した

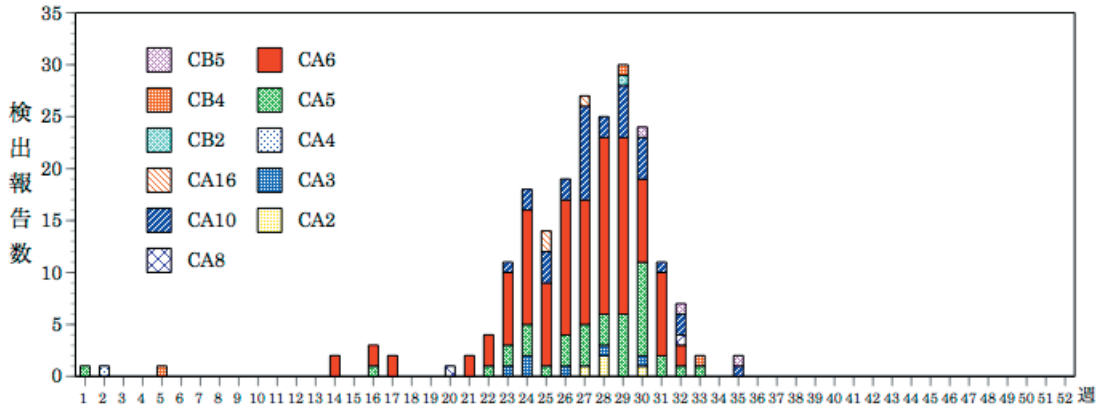
IASR
Infectious Agents Surveillance Report

◆ヘルパンギーナ患者から検出されているウイルス　2007年

2007年は第23週以降報告が増加している。A群コクサッキーウイルス(CA)6型が14府県から114件、CA5が13府県から38件、CA10が10府県から32件の検出が報告され(本号14～15ページ「速報」参照)、その他にCA3が6件、CA2が4件、CA16が3件、CA8が2件、CA4が1件、B群コクサッキーウイルス(CB)4型、CB5が各3件、CB2が1件の検出が報告されている。

CA6はヘルパンギーナ(114件)の他に、手足口病(28件)、上気道炎(13件)、不明熱(3件)、下気道炎(2件)、感染性胃腸炎(2件)、急性脳症(1件)、発疹症(1件)、口内炎(1件)の患者からも検出されている。

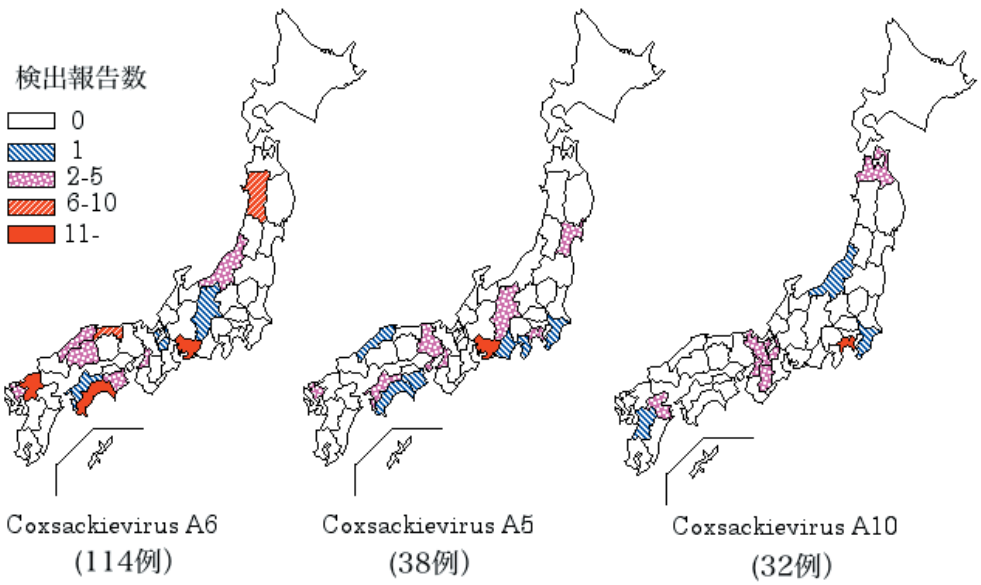
週別ヘルパンギーナ患者からのコクサッキーウイルス分離・検出報告数、2007年
(病原微生物検出情報：2007年9月27日現在報告数)



＊各都道府県市の地方衛生研究所からの分離／検出報告を図に示した

IASR Infectious Agents Surveillance Report

都道府県別ヘルパンギーナ患者からの主なコクサッキーウイルス分離・検出報告状況、2007年
(病原微生物検出情報：2007年9月27日現在報告数)



＊各都道府県市の地方衛生研究所からの分離／検出報告を図に示した

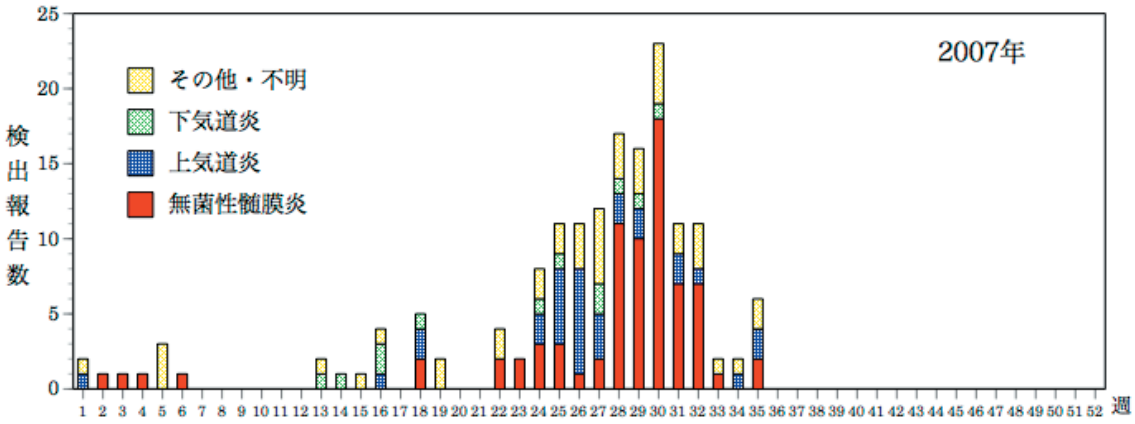
IASR Infectious Agents Surveillance Report

◆B群コクサッキーウイルス5型　2007年

2007年は第24週以降報告が増加している。香川県54件、愛知県30件、奈良県15件、千葉県13件、兵庫県8件、神奈川県6件など20都府県から計160件の検出が報告されている。検出例の診断名は無菌性髄膜炎75件、上気道炎31件、下気道炎12件、インフルエンザ様・かぜ症候群等9件、感染性胃腸炎7件、手足口病、不明熱各4件、咽頭結膜熱、ヘルパンギーナ、熱性けいれん各3件、その他・不明9件が報告されている。

週別Coxsackievirus B5分離・検出報告数、2007年

(病原微生物検出情報：2007年9月27日現在報告数)

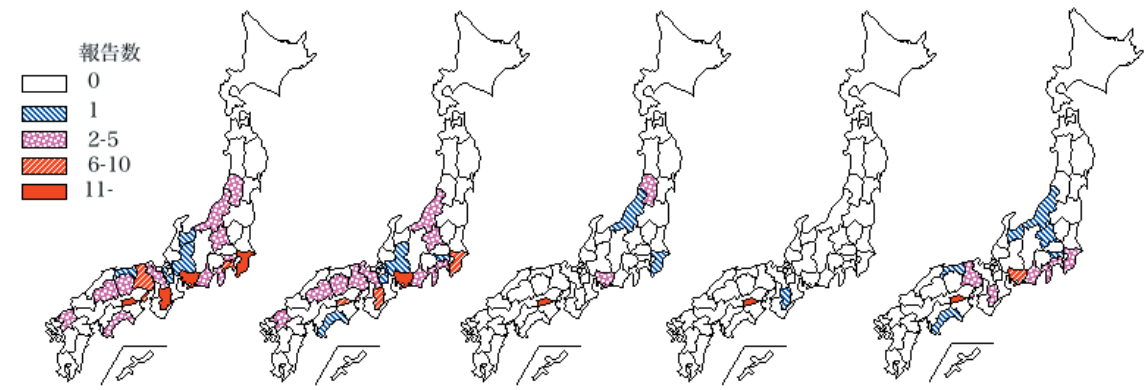


＊各都道府県市の地方衛生研究所からの分離／検出報告を図に示した

IASR
Infectious Agents Surveillance Report

都道府県別診断名別Coxsackievirus B5分離・検出報告状況、2007年

(病原微生物検出情報：2007年9月27日現在報告数)



Coxsackievirus B5合計 (160例)　無菌性髄膜炎 (75例)　上気道炎 (31例)　下気道炎 (12例)　その他・不明 (42例)

＊各都道府県市の地方衛生研究所からの分離／検出報告を図に示した

IASR
Infectious Agents Surveillance Report

速報

◆劇症型溶血性レンサ球菌感染症　1999年(4月)～2006年

劇症型溶血性レンサ球菌感染症は、A群溶血性レンサ球菌の感染によって起こる疾患として、1987年に米国で最初に報告され、わが国での最初の典型的な症例は1992年に報告された。

本疾患は、発熱、疼痛(通常四肢の疼痛)で突発的に発症し、急速に病状が進行して、発病後数十時間以内には軟部組織壊死、急性腎不全、成人型呼吸窮迫症候群(ARDS)、播種性血管内凝固症候群(DIC)などを引き起こし、ショック状態となる。その致死率は30%以上に及ぶとされる。

本疾患は、感染症法(1999年4月1日施行)に基づく全数把握疾患として、診断したすべての医師に届出が義務付けられ、その発生動向が調査されている。届出基準は、1999年4月～2006年3月までの期間においては、1)原因菌としてA群溶血性レンサ球菌の検出(血液または通常ならば菌の生息しない臓器から)、2)ショック症状、3)以下の症状のうち3つ以上:肝不全、腎不全、急性呼吸窮迫症候群、DIC、軟部組織炎(壊死性筋膜炎を含む)、全身性紅斑性発疹、痙攣・意識消失などの中枢神経症状の1)～3)のすべて満たすものであった(症状名は新基準への変更の際に一部で表現が修正されたため、ここには新基準のものを表示した)。2006年4月からは、原因菌はA群に限らずβ溶血を示すレンサ球菌すべてとされ、また3)については3つ以上から2つ以上に変更された。

届出基準変更の前後に分け、今回は主に変更前の報告分を中心に述べる。

＜1999年4月～2006年3月の発生状況(届出基準変更前)＞

1999年4月～2006年3月の7年間の報告総数は396例であった〔1999年(4～12月)21例、2000年44例、2001年46例、2002年92例、2003年52例、2004年52例、2005年60例、2006年(1～3月)29例〕。2002年が多かったが、この理由は明らかではない。なお、同じA群溶血性レンサ球菌を原因とする感染症として、全国約3,000カ所の小児科から報告されているA群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり累積報告数との比較では、年間の報告数に相関は認められなかった。2002年を除けば、年間50～60例程度であり、罹患率にすると人口10万対0.04人程度(0.035～0.047)となる(**図1**)。

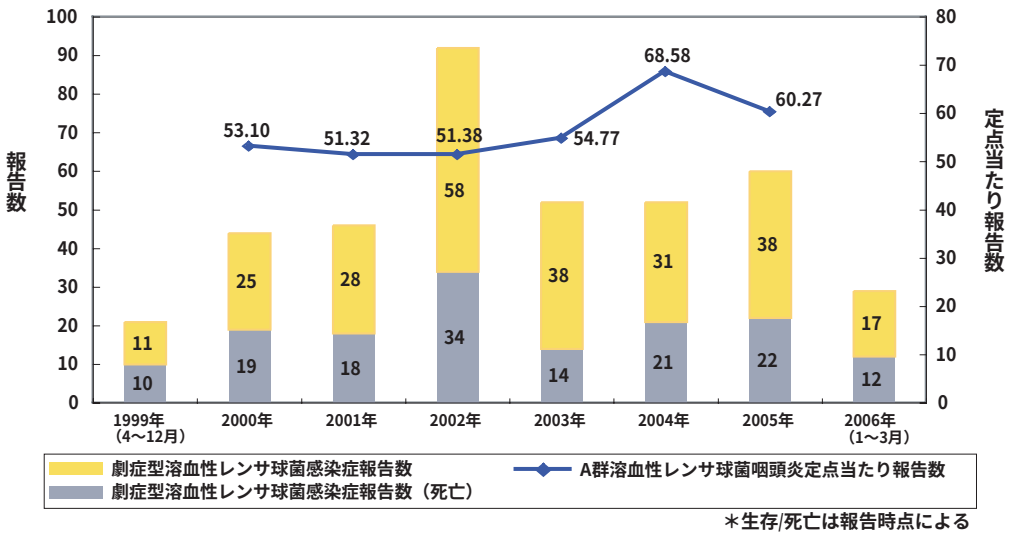


図1. 劇症型溶血性レンサ球菌感染症の年別報告数(1999年4月～2006年3月)およびA群溶血性レンサ球菌咽頭炎の年別定点当たり報告数(2000年～2005年)

396例について報告のあった都道府県をみると、東京都(49例)、愛知県(29例)、千葉県(24例)、兵庫県(23例)、神奈川県(18例)、静岡県(17例)、福島県(16例)が多かった(**図2**)。

感染地域は、国内380例、国外2例(ブラジル、トルコ各1)、不明(国内か国外か不明)14例であった。国内を感染地域とする380例の最近数年間の居住地は、国内が377例、国外が1例(国不明:船員)、不明2例であり、国外を感染地域とする2例は、ブラジルの例はブラジルおよび日本、トルコの例は不明であった。

発病月では(396例のうち発病月の記載があったもの375例)、月別に集計すると1月に最も多く、10月に最も少なかった。しかし、年により報告の多い月は異なっていた(**図3**)。

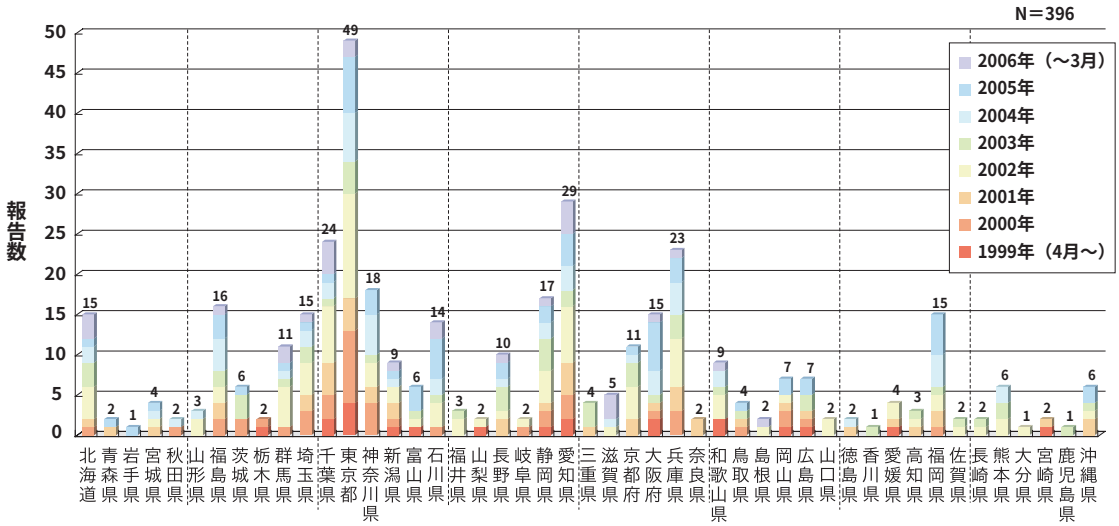


図2. 劇症型溶血性レンサ球菌感染症の都道府県別報告数(1999年4月～2006年3月)

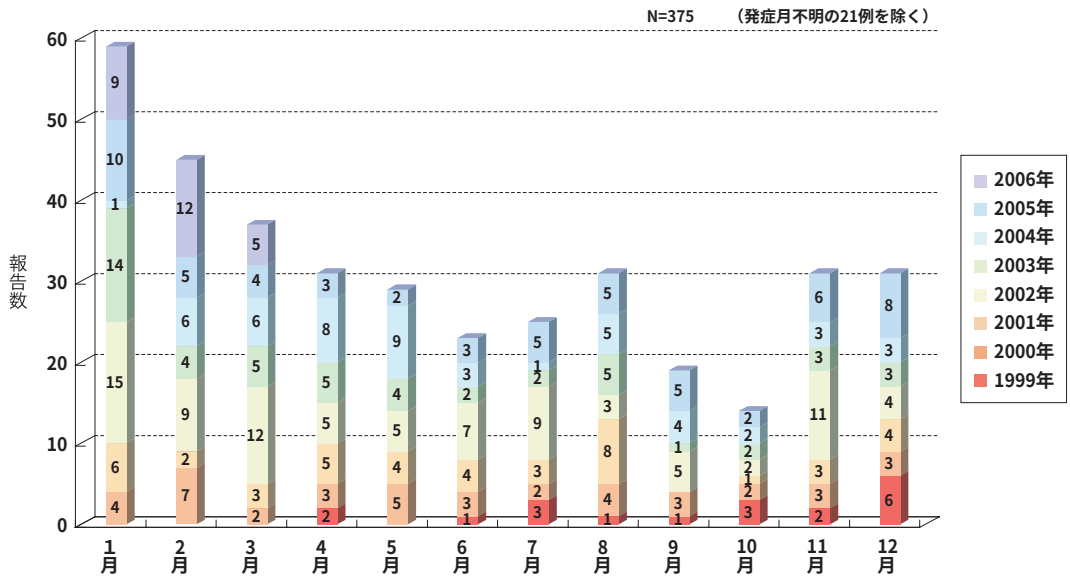


図3. 劇症型溶血性レンサ球菌感染症の発病月別報告数(1999年4月～2006年3月)

性別では男性233例、女性163例(男性/女性=1.4/1)であった。年齢の中央値は60歳(0～99歳)〔男性60歳(0～91歳)、女性60歳(2～99歳)〕であった。性別に年齢群(10歳毎)別報告数をみると、男女ともに30代から増加し60代がピークで、60代の男性は特に多かった。女性では男性とは異なり、30代が40代の2倍で、50代、70代に近い報告数であった(**図4**)。また、報告は必須ではないが、妊産婦と記載のあったものが6例あり、すべて30代であった。

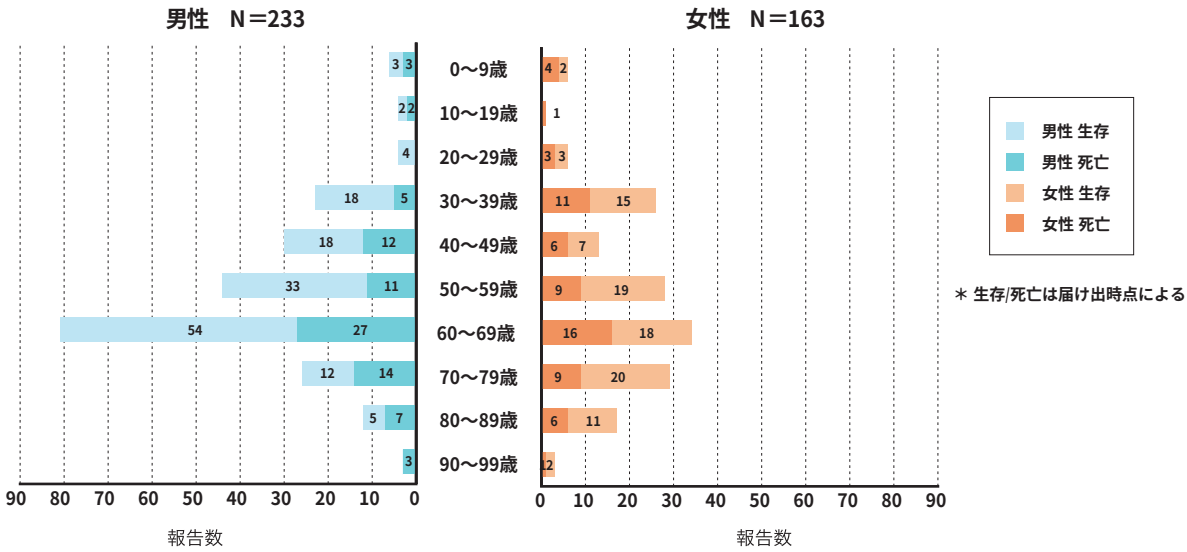


図4. 劇症型溶血性レンサ球菌感染症の性別・年齢群別報告数(1999年4月～2006年3月)

死亡の報告は396例中150例あり、死亡割合(報告上の致死率)は38%〔男性233例中84例(36%)、女性163例中66例(40%)〕であった(**図4**)。死亡者の年齢中央値は61歳(0～99歳)〔男性63歳(0～91歳)、女性57歳(2～99歳)〕であった。

年齢群別・性別に死亡割合をみると、10歳未満および10代は男女ともに50%以上であった。20代および30代は男性ではそれぞれ死亡者なしと22%であるのに対し、女性ではそれぞれ50%、42%であった。70代以降は男性では50%以上だが、女性では30～35%であった(**図5**)。妊産婦6例のうち死亡は4例であった。

発病から死亡までの日数(死亡者150例のうち発病日と死亡日の記載があったものは143例)は、1日、2日、3日、0日の順に多く、3日以内が104例(73%)であり、7日以内では130例(91%)であった(**図6**)。

死亡の報告には、届け出時点以降の死亡例が十分反映されていない可能性がある。本疾患の致死率をより正確に把握する上で、死亡の確認は重要なので、届け出後に判明した場合には追加報告をお願いしている。

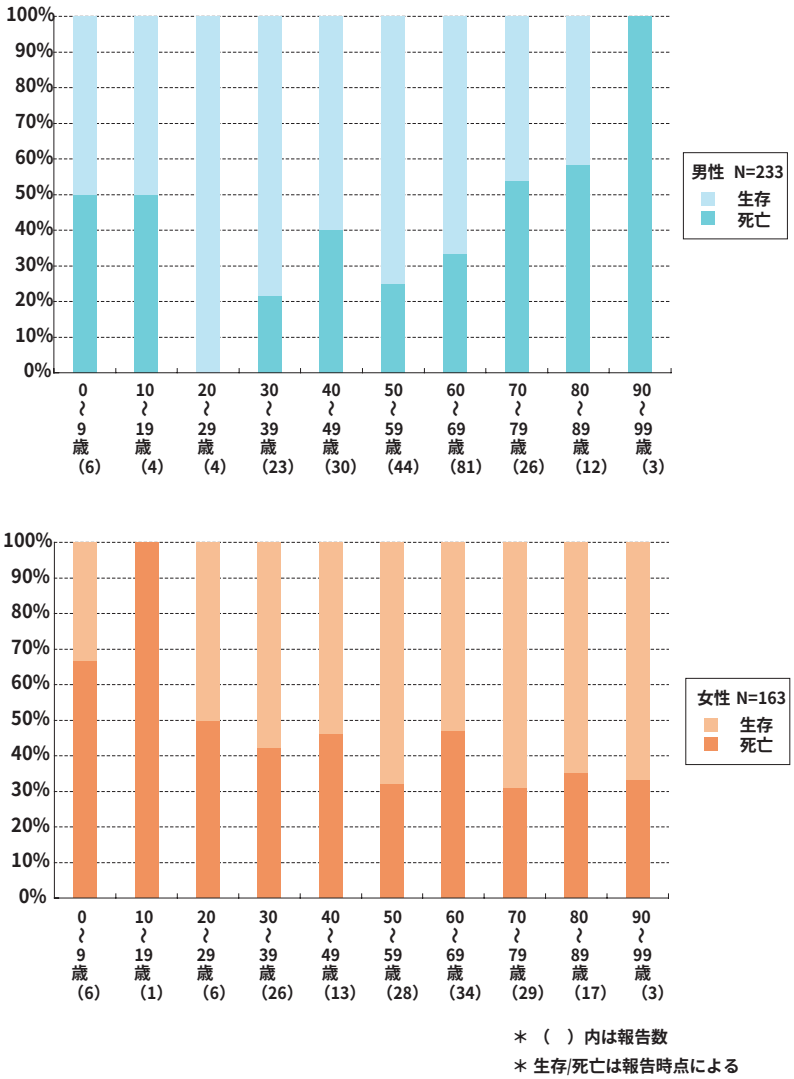


図5. 劇症型溶血性レンサ球菌感染症の性別・年齢別死亡割合(1999年4月～2006年3月)

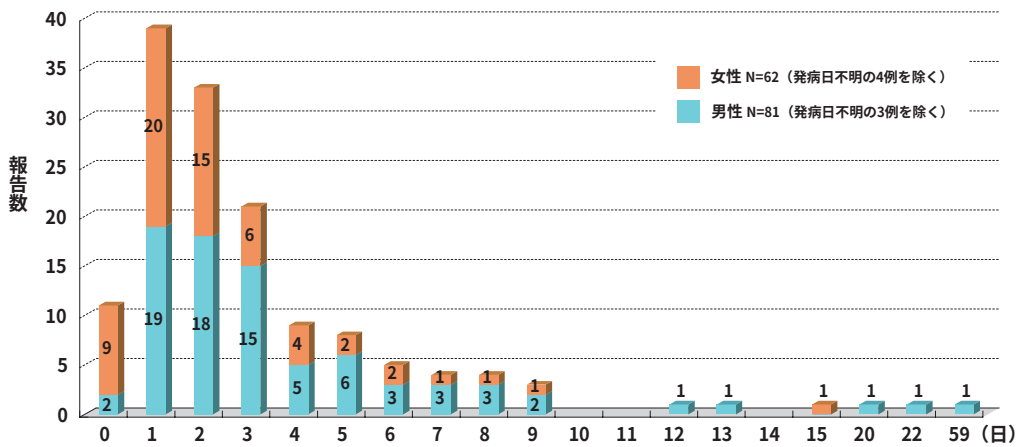


図6. 劇症型溶血性レンサ球菌感染症の発病から死亡までの日数(1999年4月～2006年3月)

推定感染経路は396例中313例(79%)は不明であった。記載のあった83例では、外傷部位などの皮膚からの感染とするものが55例、経口感染が8例、飛沫感染7例、接触感染が5例、その他が8例であった(**表**)。

表. 劇症型溶血性レンサ球菌感染症の推定感染経路(1999年4月～2006年3月)

N=396

外傷部位等の皮膚	55例	
経口	8例	
飛沫	7例	
接触	5例	
その他	8例	胃切除、犬、性的接触、経口または動物、陰嚢の毛のう炎、う歯または扁桃炎、土、膣または咽頭から血行性　各1例
不明	313例	

＜2006年4～12月(第52週)の発生状況(届出基準変更後)＞

2006年4月～12月の9カ月間に、新たな基準に基づき届け出られた劇症型溶血性レンサ球菌感染症は77例であった。77例の血清群は、A群62例、B群5例、C群3例、G群6例、血清群不明1例であった。A群の62例のうち、症状の記載から旧基準に該当するものと判定できたものが31例あり、基準の変更がなければ2006年の報告数は60例となり、2005年と同数であった(**図7**)。

新基準による届け出の開始により、A群溶血性レンサ球菌を原因とした症例の報告は増加し、B群、C群、G群を原因とした症例も報告されていた。血清群別の検討を含め、新基準による本疾患の今後の発生動向が注目される。

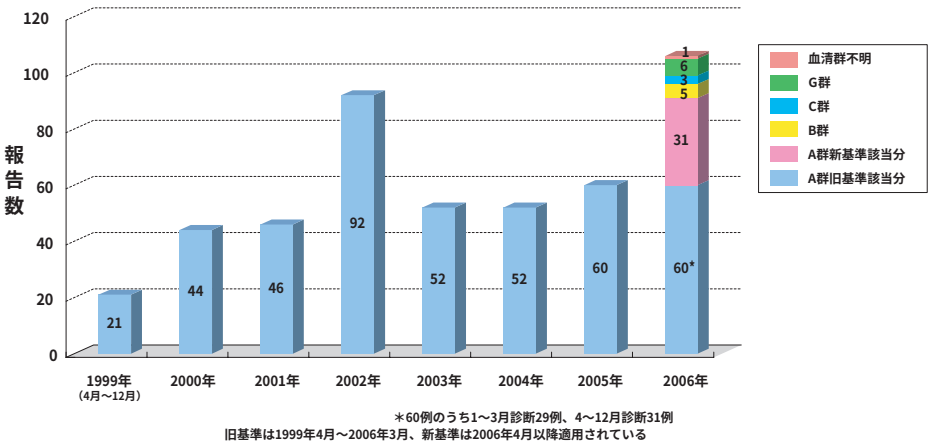


図7. 劇症型溶血性レンサ球菌感染症の年別報告数(1999年4月～2006年12月)

劇症型溶血性レンサ球菌感染症は、致死率の高い重篤な疾患であるが、一方でその発生機序は未だ解明されていない。重症化の危険因子と考えられる基礎疾患や先行感染症の存在などの臨床的情報、また、A群溶血性レンサ球菌の病原因子とされるM蛋白の型別や、薬剤感受性の把握を含めた病原体の詳細な解析は、本症の予防や診断・治療に非常に重要である。本疾患の病原体サーベイランスは、地方衛生研究所・国立感染症研究所から成る「衛生微生物協議会溶血性レンサ球菌レファレンスセンター」で行われている。本症の対策に資するため、可能な限り菌株を収集し、解析結果を還元することが必要であるので、関係者の協力をお願いする。

◆2007年シーズンにおけるヘルパンギーナ患者および手足口病患者からのエンテロウイルス検出状況－神奈川県

神奈川県域における2007年シーズンのヘルパンギーナ患者および手足口病患者の発生動向およびウイルス検出状況を報告する。

1. ヘルパンギーナ患者の発生動向およびウイルス検出状況

2007年の神奈川県域(横浜市、川崎市を除く)におけるヘルパンギーナの週別患者報告数は、第25週(6/18～6/24)に定点当たり1.0人を超え、第30週(7/23～7/29)に6.82人とピークを迎えたが、第35週(8/27～9/2)においても1.35人と流行が続いている。

2007年1月～8月末までに、神奈川県域(横浜市、川崎市、横須賀市、相模原市、藤沢市を除く)の病原体定点医療機関から搬入されたヘルパンギーナ患者検体の咽頭ぬぐい液46件について、6種類(RD-18S、HeLa、Vero、HEp-2、LLC-MK2、VeroE6細胞)の培養細胞および哺乳マウスを用いてウイルス分離を行ったところ、現在までにコクサッキーウイルス(C)A10型が14株、A5型が2株、A16型が1株、B2型が1株、B5型が2株、エンテロウイルス以外では単純ヒトヘルペスウイルス1型(HSV-1)が2株分離された。このことから今シーズンのヘルパンギーナ流行の主因ウイルスはCA10と推測された。年別による流行状況および主な分離ウイルスをみると、定点当たり報告数のピークは2007年も平年とほぼ同様であったが、主因ウイルスとなったCA10は4年ぶりの流行であった。ヘルパンギーナは病因となるA群コクサッキーウイルスの血清型が多いことから、毎年主流ウイルスの血清型が入れ替わり、ほぼ一定規模以上の流行を引き起こしているものと思われた。

2. 手足口病患者の流行状況およびウイルス検出状況

手足口病の週別患者報告数は、第27週(7/2～7/8)に定点当たり1.0人を超え、第30週(7/23～7/29)に3.05人と比較的中規模なピークを迎え、第33週(8/13～8/19)には定点当たり1.0を下回った。しかし地域によって局地的流行が見られ、小田原地区では第17週(4/23～4/29)から定点当たり1.0人前後と継続的に流行が見られ、第30週(7/23～7/29)には8.50人とピークを迎えた。また、秦野地区、厚木地区では、第26週(6/25～7/1)あたりから流行がみられ、第30週には秦野地区で12.50人、厚木地区で5.55人とピークとなり、第35週(8/27～9/2)においても流行が続いている。

病原体定点医療機関から搬入された手足口病患者検体の咽頭ぬぐい液48件について上記6種類の培養細胞および哺乳マウスを用いてウイルス分離を行ったところ、現在までにエンテロウイルス(EV)71型が19株、CA16が10株、CA10が4株、CA5が1株、エンテロウイルス以外ではCA16との重複感染でアデノウイルス2型が1株、ワクチン接種後に分離されたポリオウイルス1型が1株分離された。このことから今シーズンの手足口病流行はEV71とCA16による混合流行と推測された。特に4月下旬から流行が見られた小田原地区では、7月上旬までに搬入された手足口病検体からEV71が分離されており、その後はEV71とCA16の両方が分離されるようになった。従って、小田原地区の第17週からの局地流行はEV71によるものと推測された。EV71は神奈川県域においては2003年、2005年、2007年と2年おきに流行がみられている。EV71は局地的に継続的な流行を引き起こす可能性があり、また重篤な中枢神経性の合併症を引き起こす場合があることから、今後もその発生動向には注意が必要である。

神奈川県衛生研究所微生物部
佐野貴子　齋藤隆行　近藤真規子　渡邉寿美　尾上洋一
神奈川県感染症情報センター
近内美乃里　佐藤善博　折原直美

（IASR 2007年10月号掲載予定記事より抜粋、詳細は同号参照）

海外感染症情報

＊関連の情報やさらに詳しい情報については、FORTHホームページ(http://www.forth.go.jp/)をご覧下さい。

●コンゴ民主共和国でエボラ出血熱流行

WHO/EPR　2007年9月27日－更新3

コンゴ民主共和国保健省は、幅広い国際的な協力機関からの支援を受けて、Kasai Occidental州で現在進行中のエボラ出血熱流行への対応を継続している。

2007年9月27日時点で、Kasai Occidental州のMwekaおよびLuebo保健区から、検査で診断確定されたエボラ出血熱患者17名が発生している。それに加え今回の感染事例では、腸チフスや赤痢菌(*Shigella dysenteriae* type 1)を含む別の病因による患者も確認されている。最新の確定患者は9月22日にKampungu MSF(国境なき医師団)の隔離病棟で死亡し、安全に埋葬された。患者の発生した2つの村に米国CDCとカナダ公衆衛生局の専門家によって設置された移動検査室により、現場の対策チームが、2～6時間で新たなエボラ疑い患者の迅速で正確な診断を行うことが可能となった。

現場の対策チームは、感染伝播の連鎖を断ち切ることに集中し、隔離施設にいる新たな疑い患者の監視と接触者追跡を継続している。同国の保健当局は、医療従事者での感染リスクを最少化するために、感染地区にある保健センターや病院で厳密な感染制御対策を導入している。感染制圧に関する情報と訓練用具が準備されており、新たな患者が現在の感染地区を越えて特定された場合に、全国の州保健当局へと配布される。

感染地区の保健当局は、地区住民に重要な情報メッセージを作成するために、社会動員専門家やコミュニケーションチームと緊密に連携して活動している。メディアは、エボラ出血熱予防に関するラジオ番組を準備し放送するとともに、地域住民にエボラの初期症状をどのように見分けるか、関連当局にどのように届け出るかの情報を提供している。現地住民の60%が、これらのラジオ報道によって情報を入手していると推定される。

コミュニケーションチームは、可能な限り広範な地域住民集団に情報が行き渡るよう、女性および青年協会、教会、軍部隊、学校および市場を含む現地の市民社会グループを通じて活動している。これらの活動は地域住民に感染伝播のリスクを警告するのに必須であるが、同時にウイルス性出血熱流行にしばしば付随するパニックや恐慌を減じている。

入院記録に関する後ろ向き調査が、今回の事例の初期経過を究明し、最初の数カ月間の流行の拡大を実証するため、現在実施されている。

●イラクでのコレラ流行

WHO/EPR　2007年9月25日－更新2

2007年8月下旬以来、コレラ流行は、イラク北部の25地区とイラク南部の4地区および中央部全域へと拡大している。3万名以上が急性水様性下痢症に罹患したと推定され、その内の2,116名がコレラ菌*Vibrio cholerae*陽性と確認された。致死率は0.52%で、これまでのところ低値に留まっているが、感染はイラク全土へと拡大を続けており、まだ患者が発生していない地区への感染拡大の可能性も依然として高い。

今回の流行は最初Kirkuk行政地区で確認され、同行政地区からは、検査で診断が確定されたコレラ患者の68%がこれまでに報告された。感染はその後Sulaymaniyah行政地区とErbil行政地区へと拡大した。新たな孤発性のコレラ患者が、同国の他の地区で特定されており、その地区は、Tikrit(患者6名確定)、Mosul(患者2名確定)、Basra(患者1名確定)、Baghdad(患者2名確定)およびDahuk(患者1名確定)などである。

イラク政府は、今回の流行に対して複数の分野にまたがる対応を展開している。特別な制圧対策が強化され、未感染地区への伝播リスクを軽減するための予防対策を導入している。しかし、塩素消毒剤の深刻な不足が指摘されており、飲料水を住民が安全に飲めるような状態に処理できるように、再補充が緊急に必要となっている。安全な飲料水の供給は、コレラ流行制圧の中で最優先事項である。

WHOは、現在進行中の制圧対策において、イラク政府および地区保健当局の支援を続けている。1キットで中等症患者400名と重症患者100名を治療するのに十分な、下痢性疾患キット(interagency diarrhoeal disease kits)10セットが、9月16日にErbil国際空港に到着した。迅速診断検査装備が、辺地の医療機関に設置されつつある。加えて、コレラ菌陽性便検体の10%が、診断確定と菌の表現型解析のため、カイロにあるNAMRU3レファレンスラボラトリー(米国海軍研究部門)に送付されている。コレラ感染拡大の制圧に関しては、WHOは、感染地区への旅行や貿易に関する特別な制限を勧告していない。

感染症の話

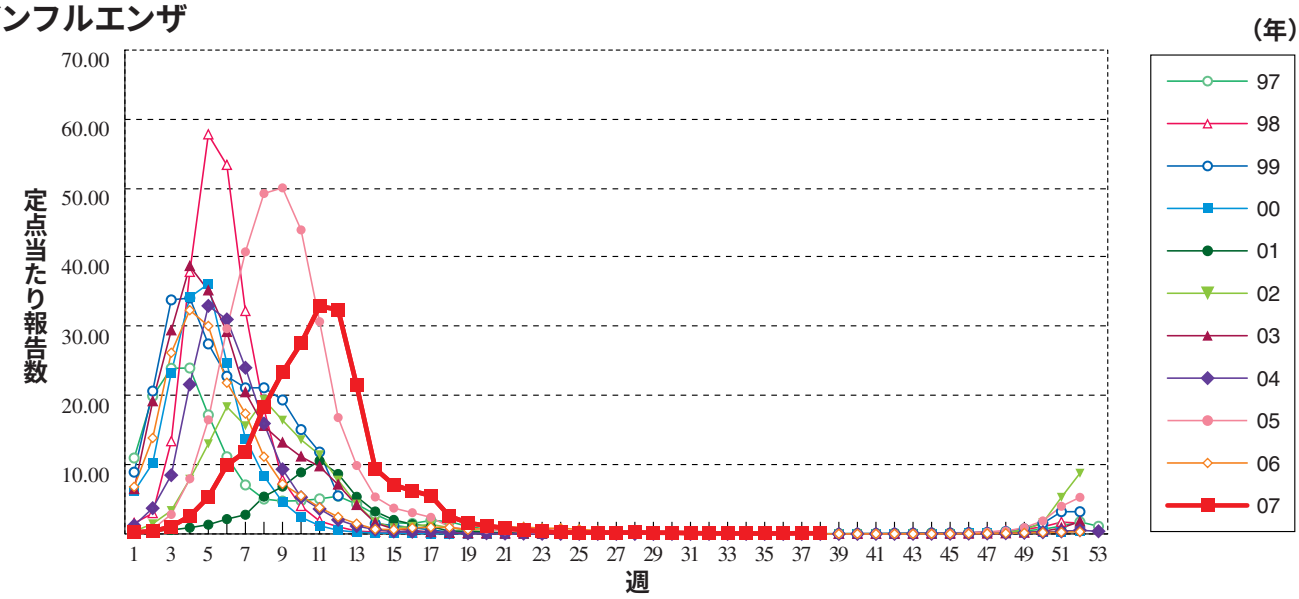
****

今週はお休みさせていただきます。
「感染症の話」過去の掲載分については
http://idsc.nih.go.jp/idwr/kansen/index.html
でご覧いただけます。

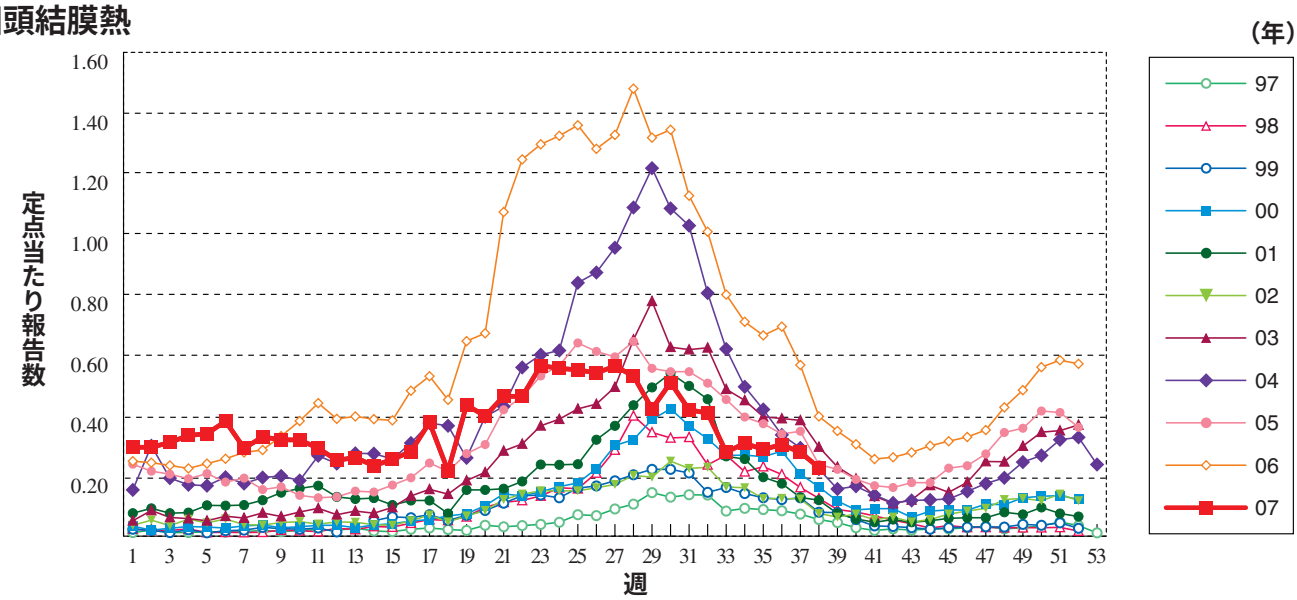
****

グラフ総覧(38週)

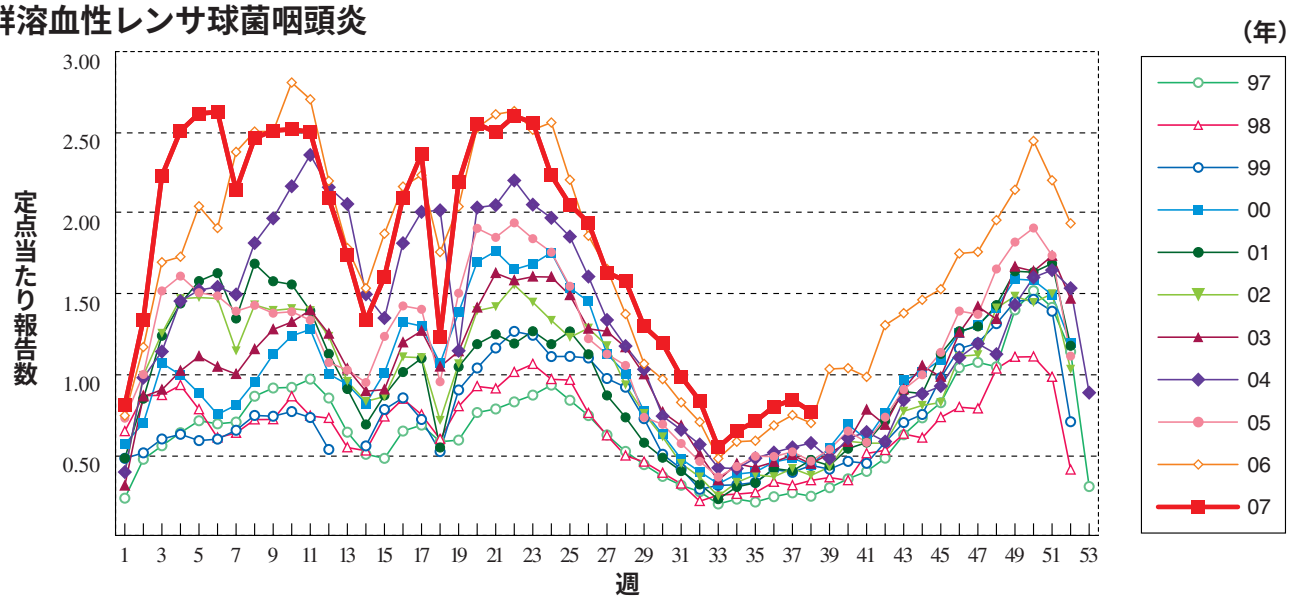
インフルエンザ



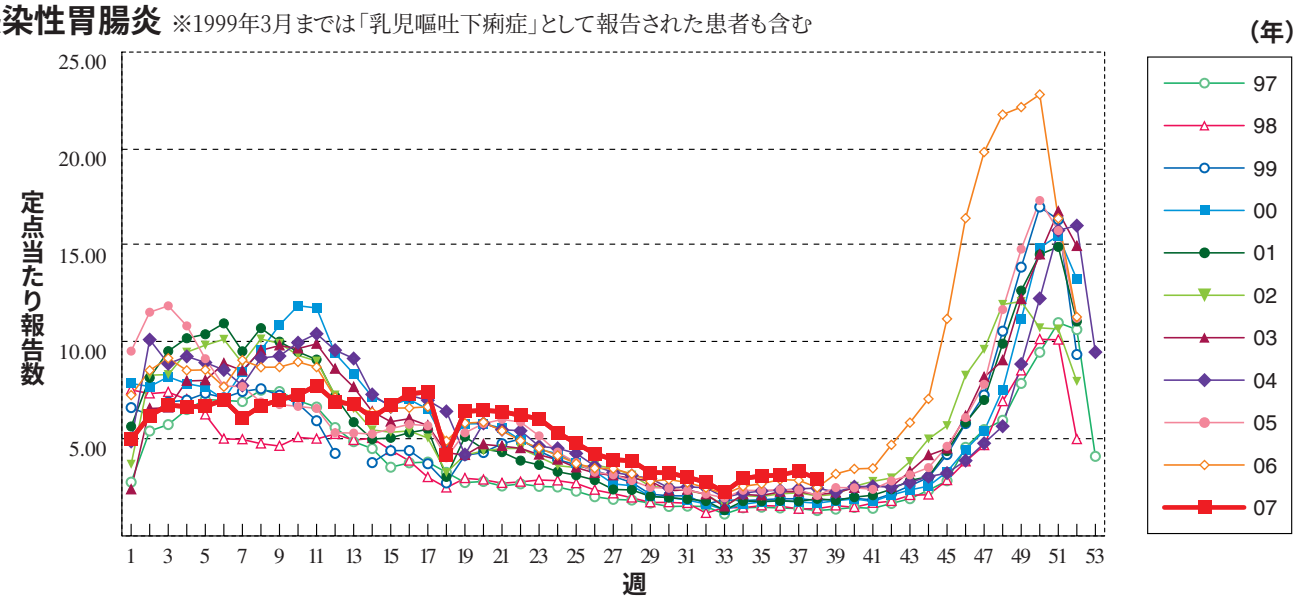
咽頭結膜熱



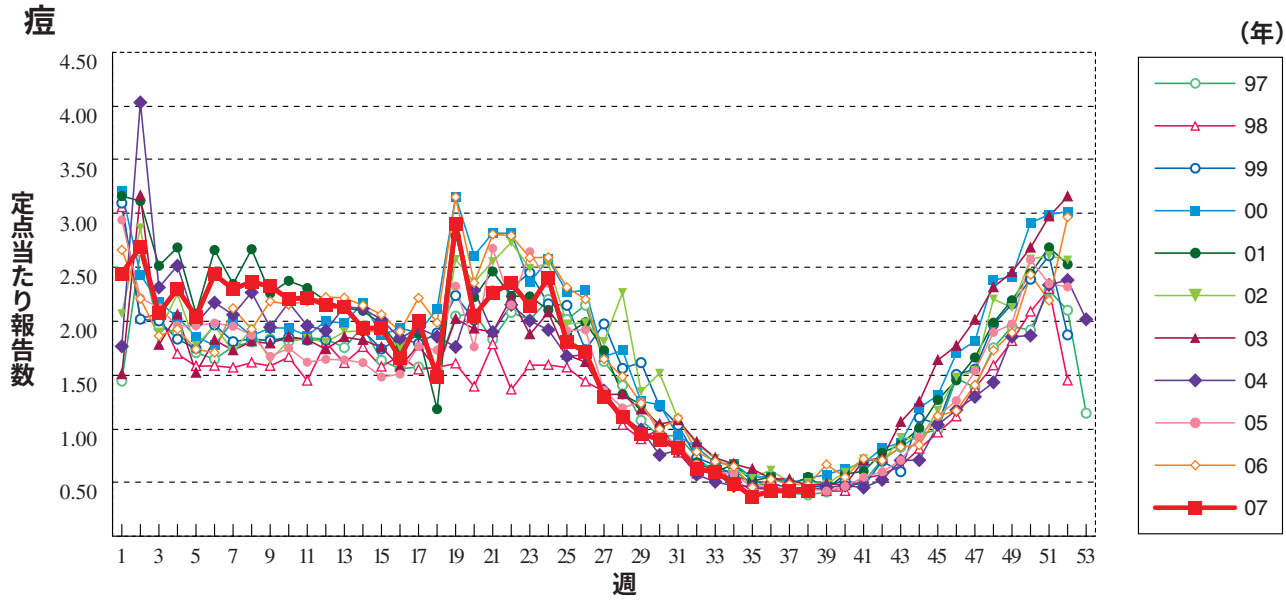
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



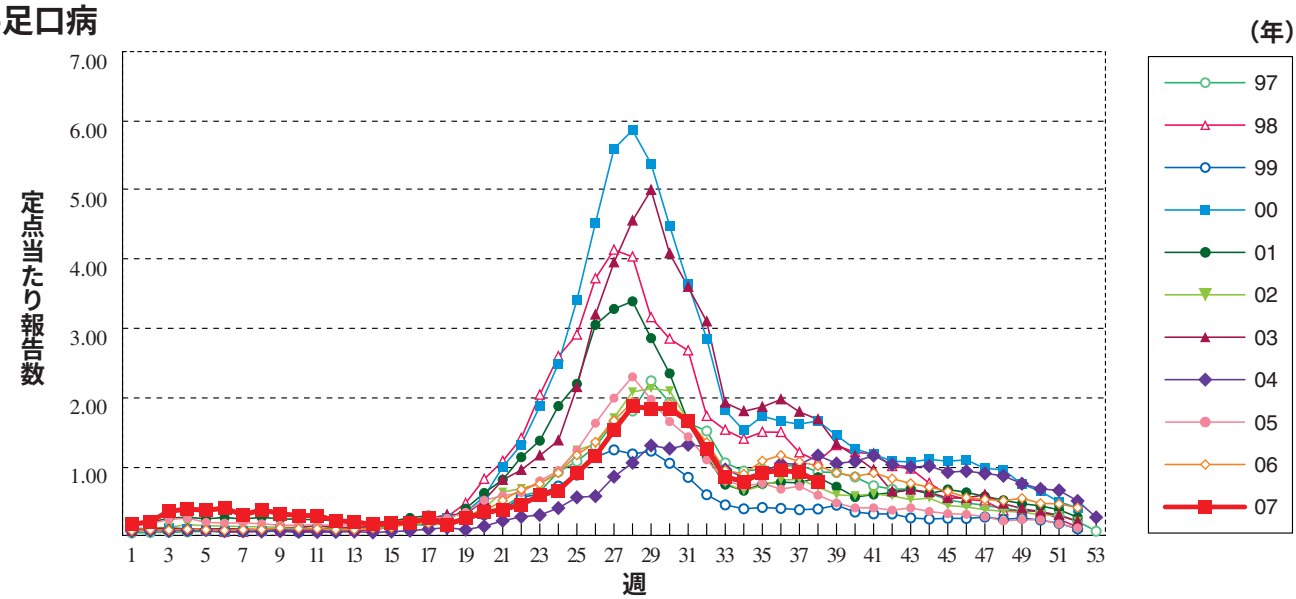
感染性胃腸炎 ※1999年3月までは「乳児嘔吐下痢症」として報告された患者も含む



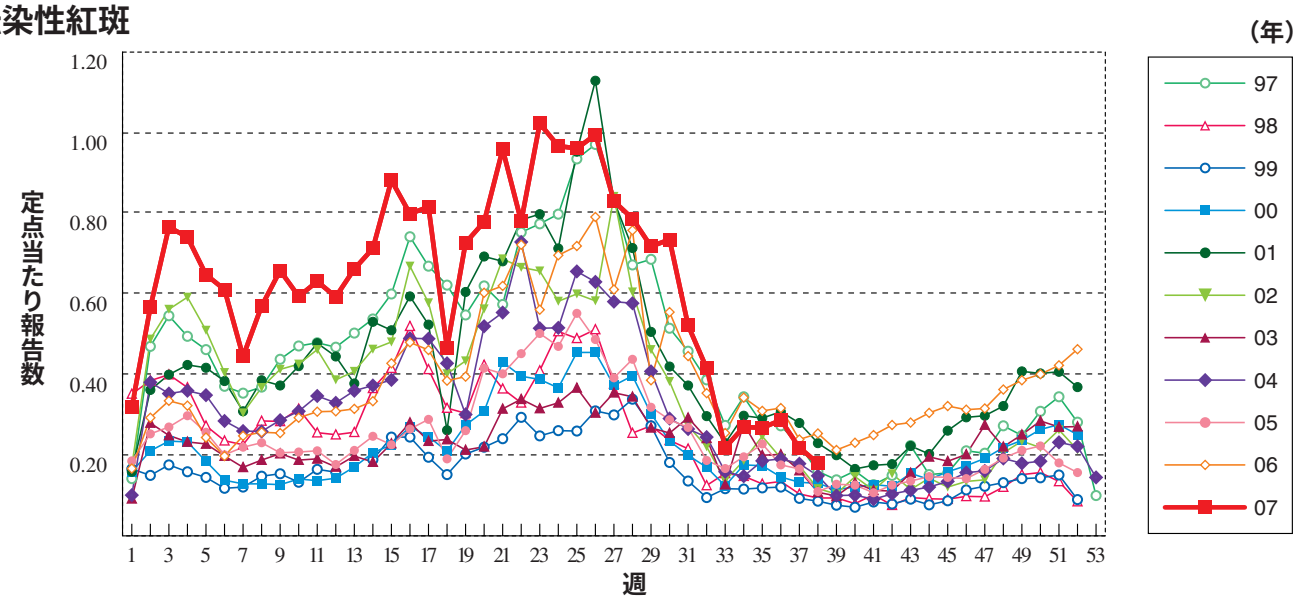
水　痘



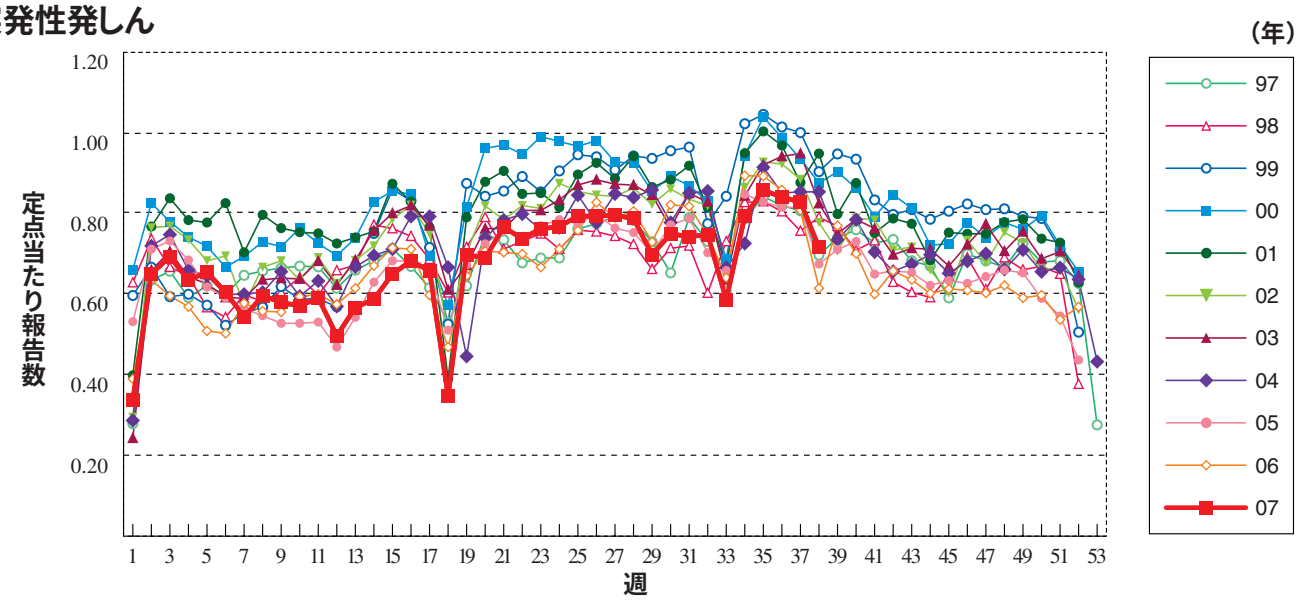
手足口病



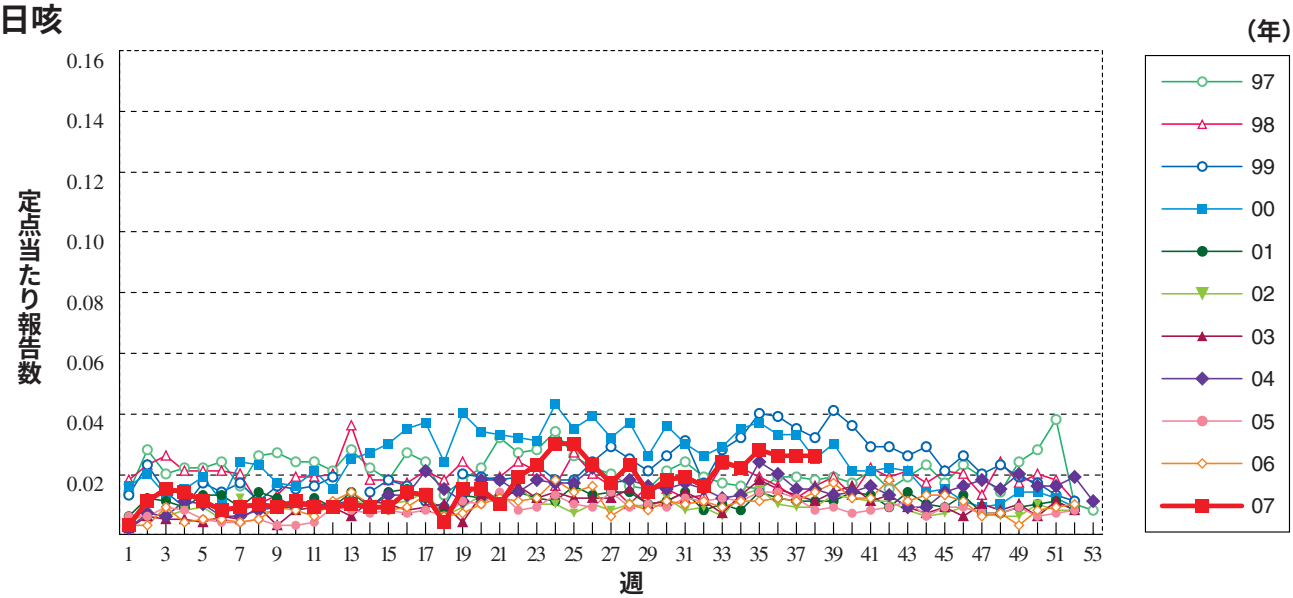
伝染性紅斑



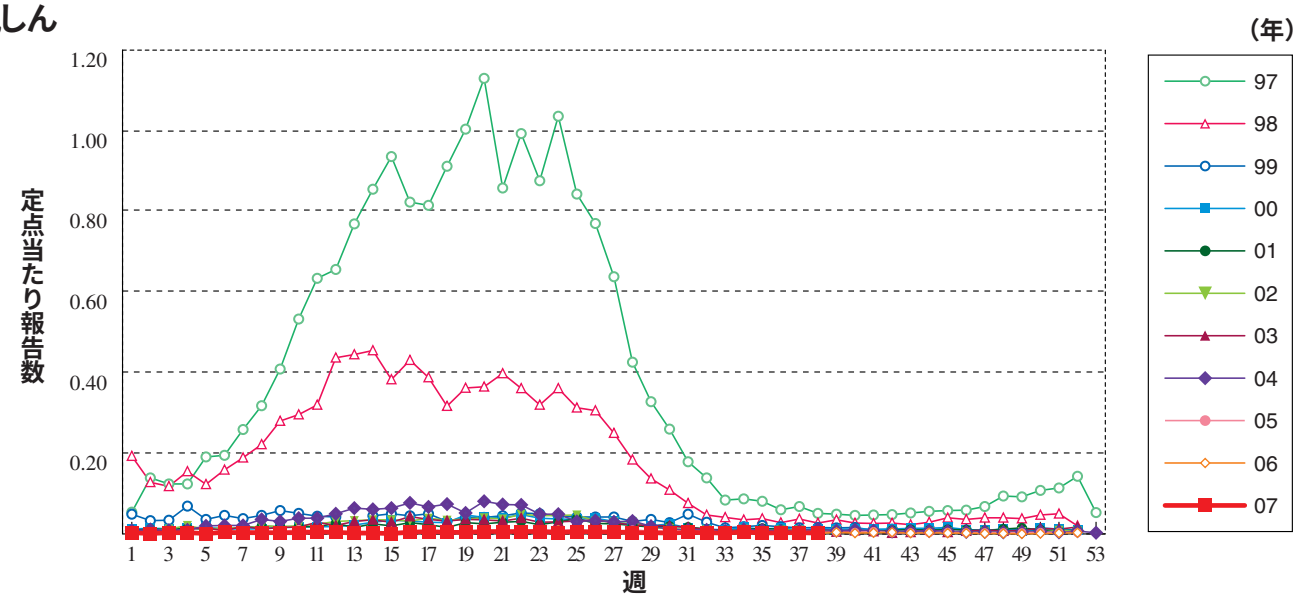
突発性発しん



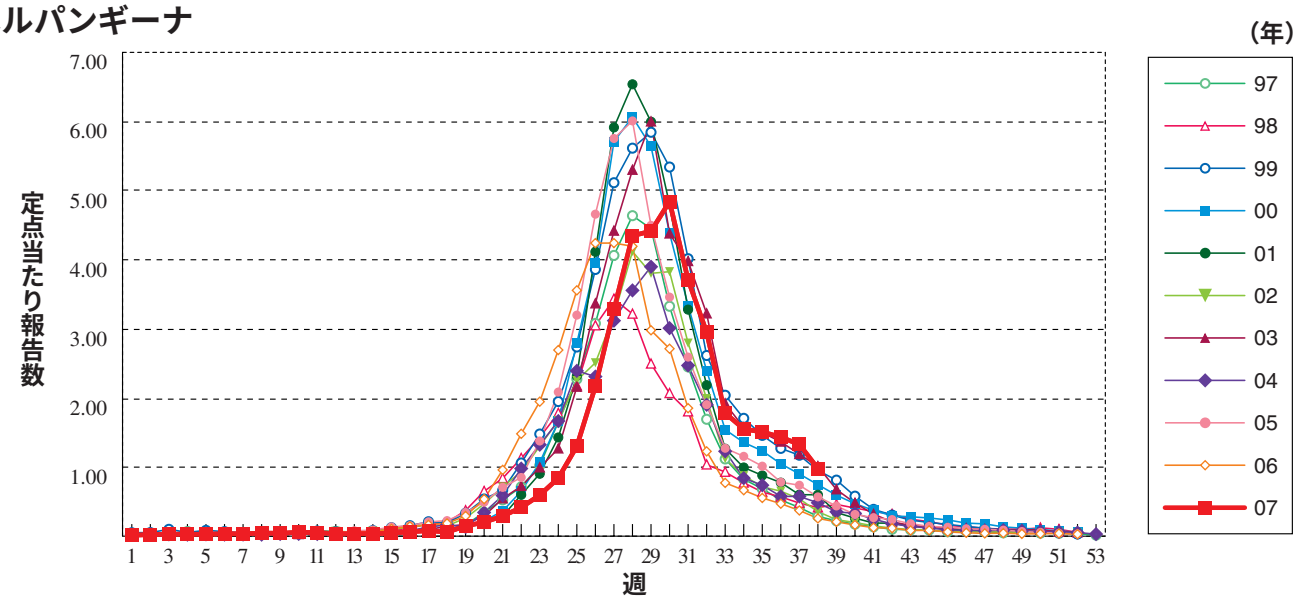
百日咳



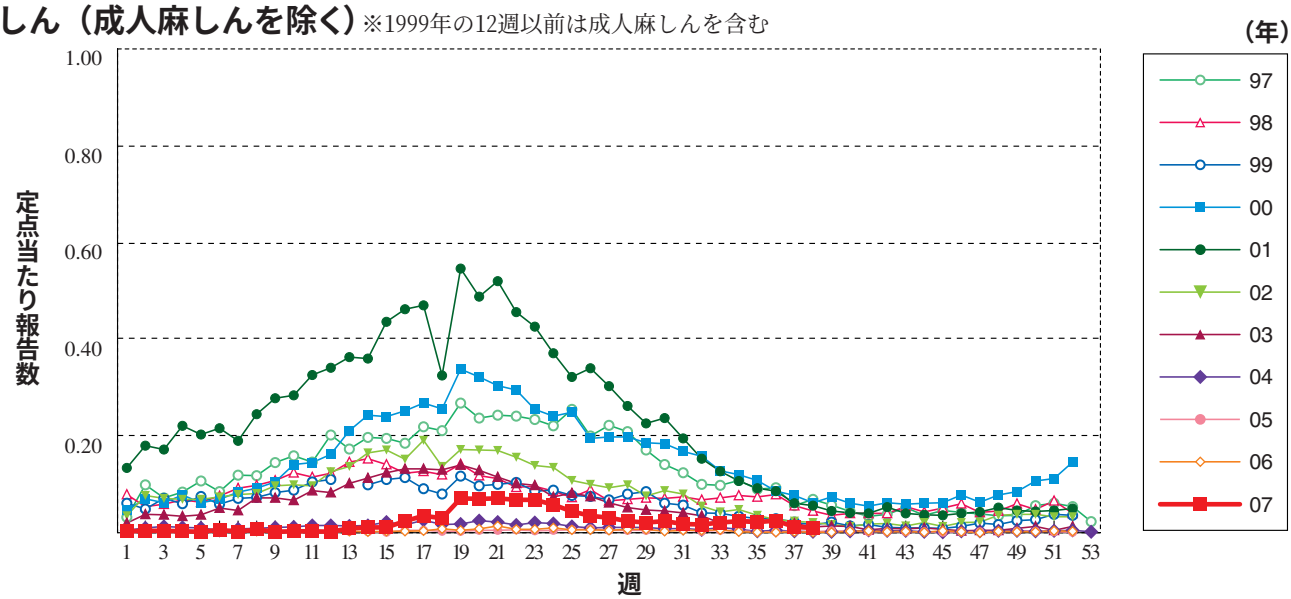
風しん



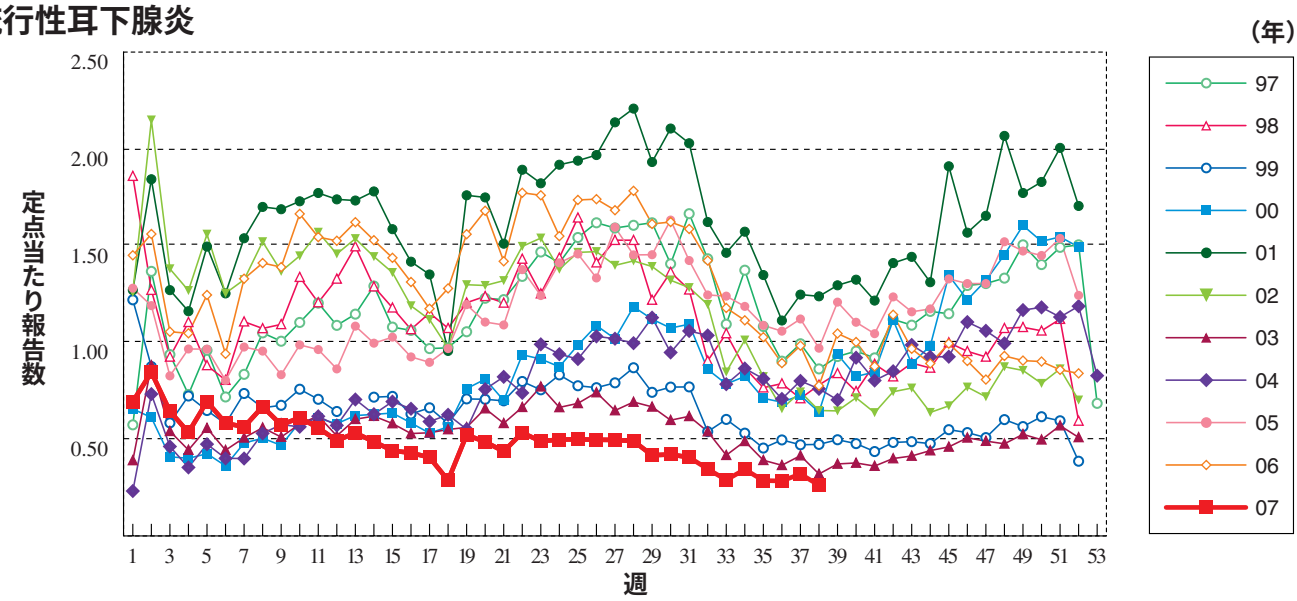
ヘルパンギーナ



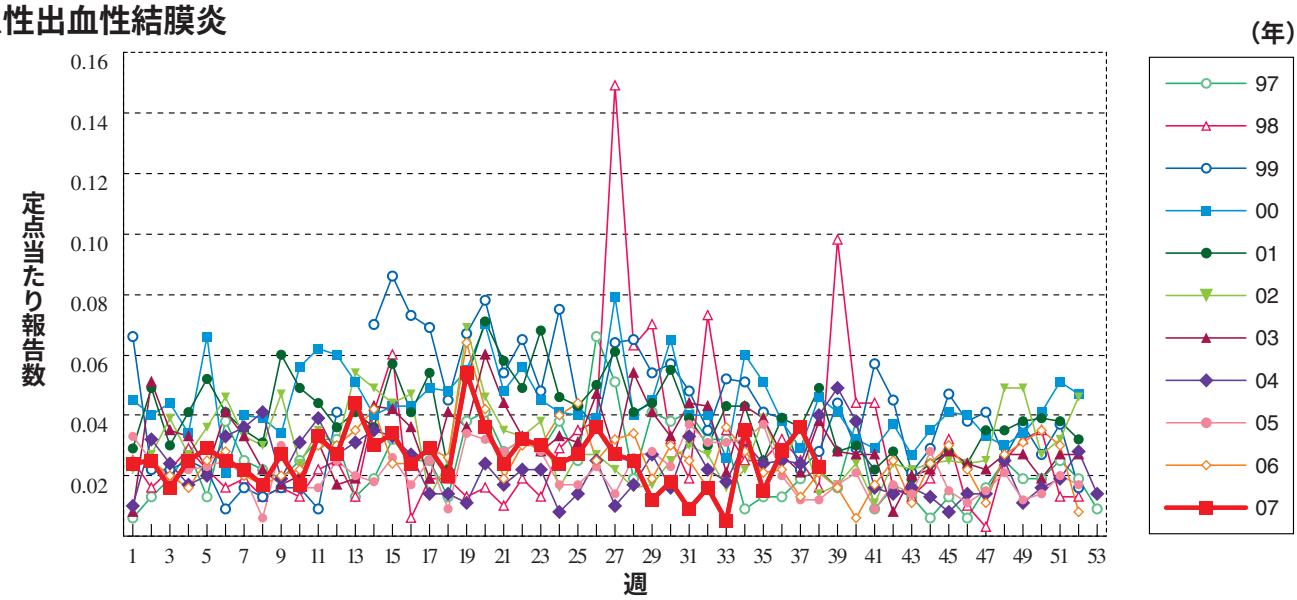
麻しん（成人麻しんを除く）※1999年の12週以前は成人麻しんを含む



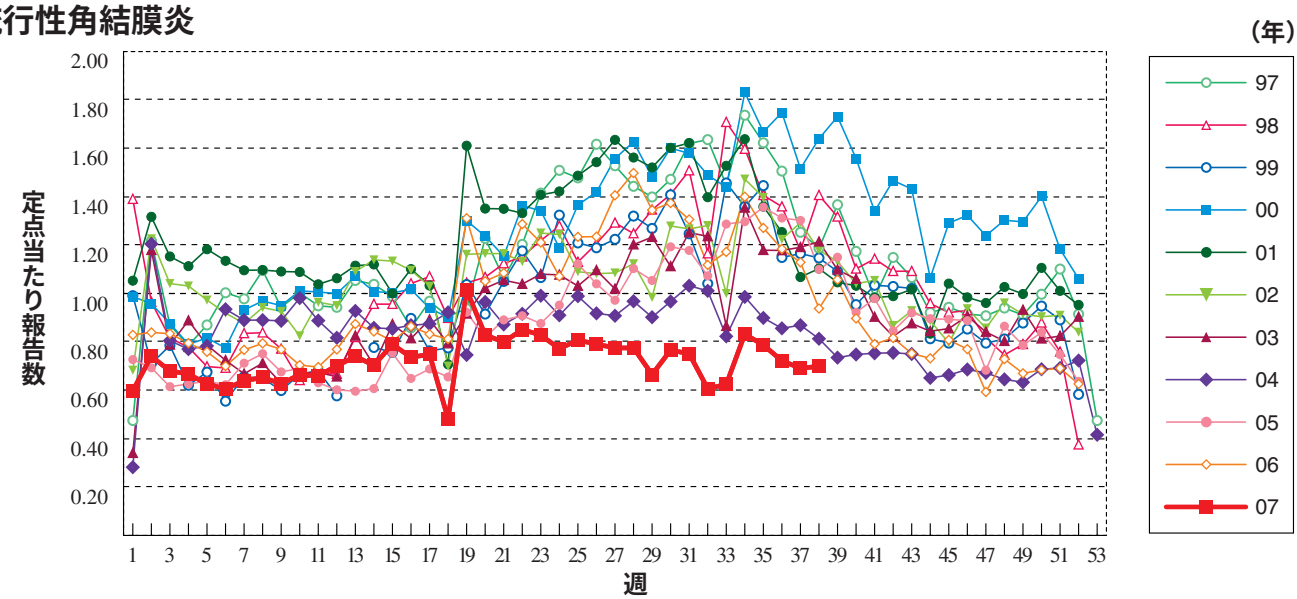
流行性耳下腺炎



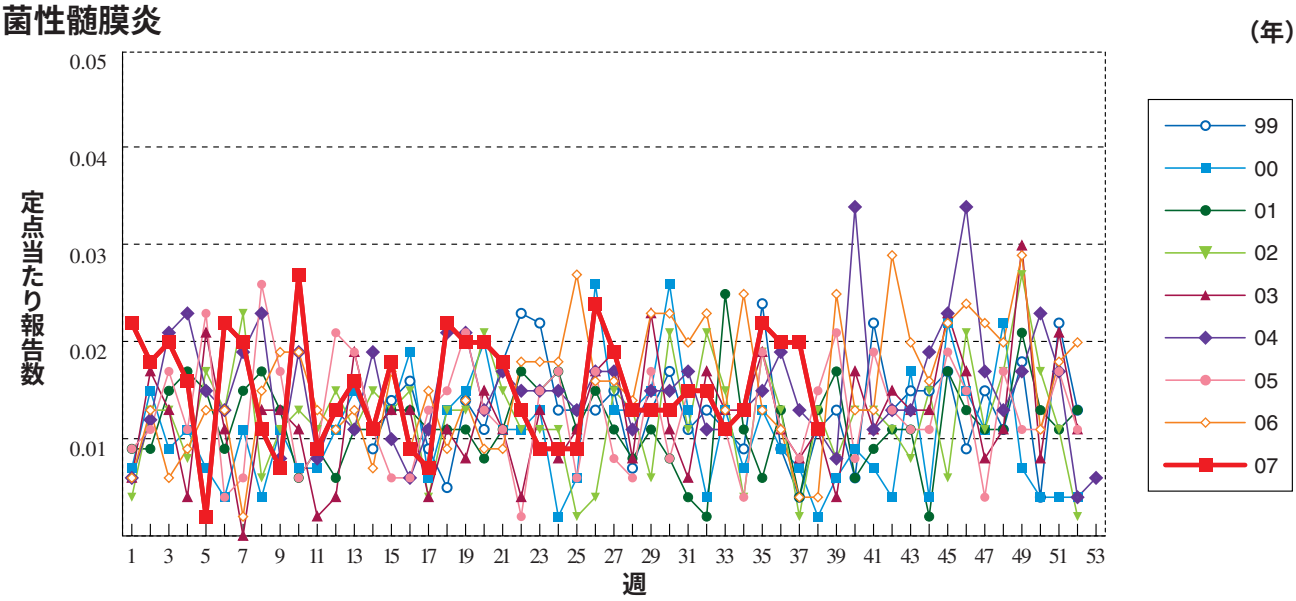
急性出血性結膜炎



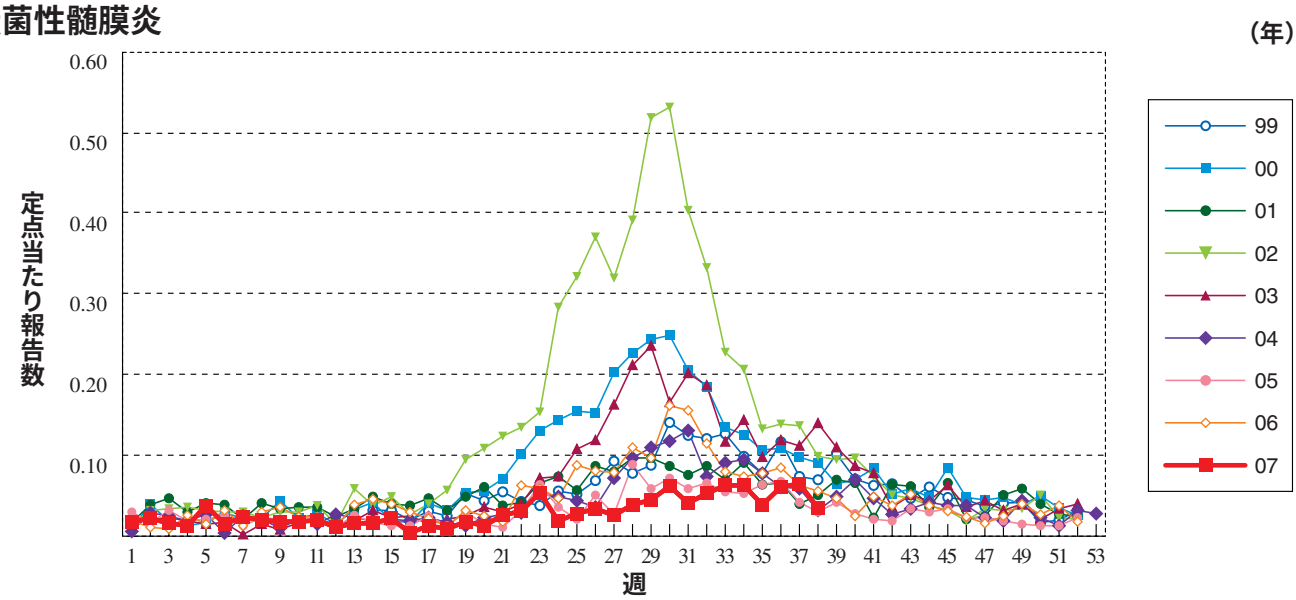
流行性角結膜炎



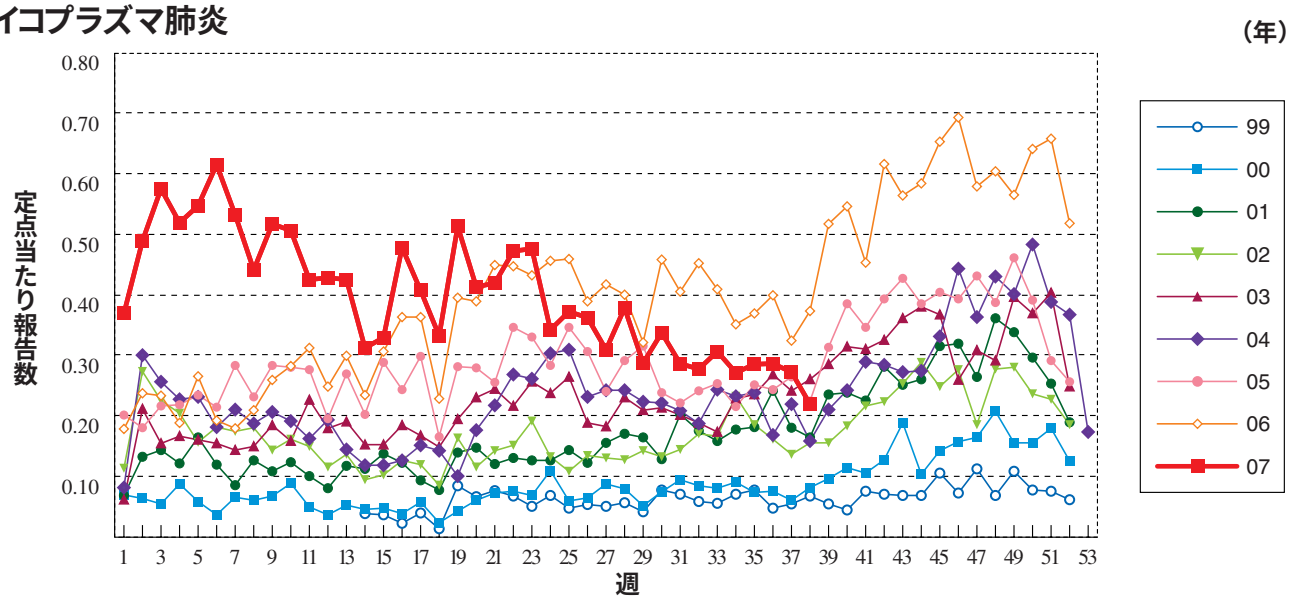
細菌性髄膜炎



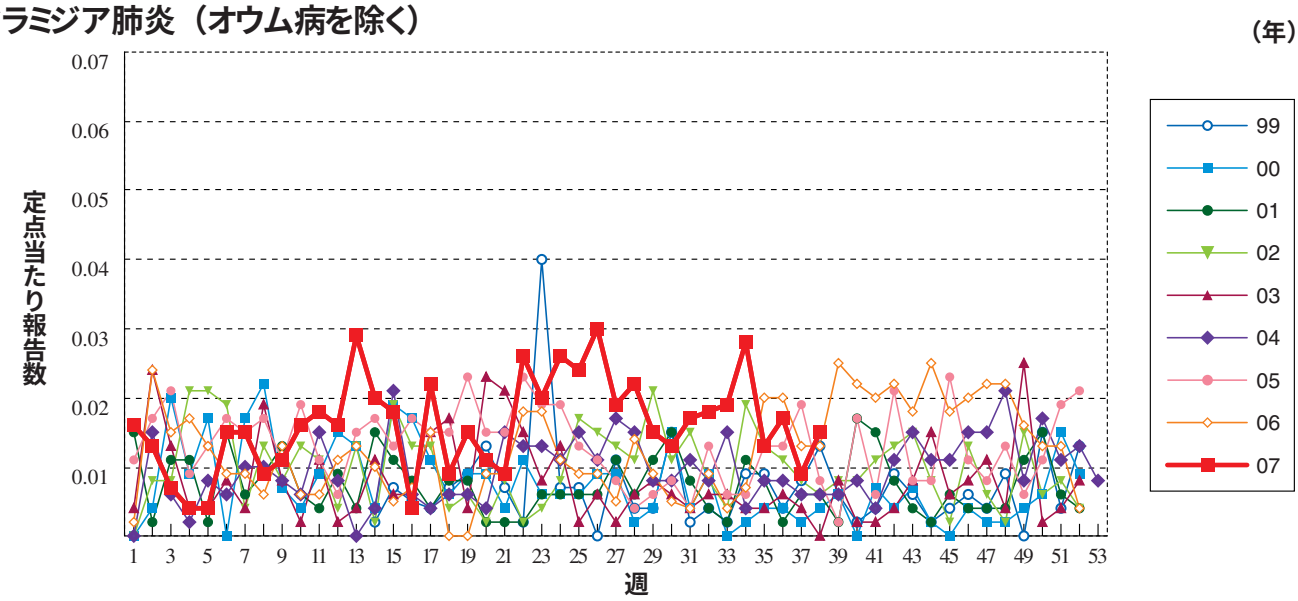
無菌性髄膜炎



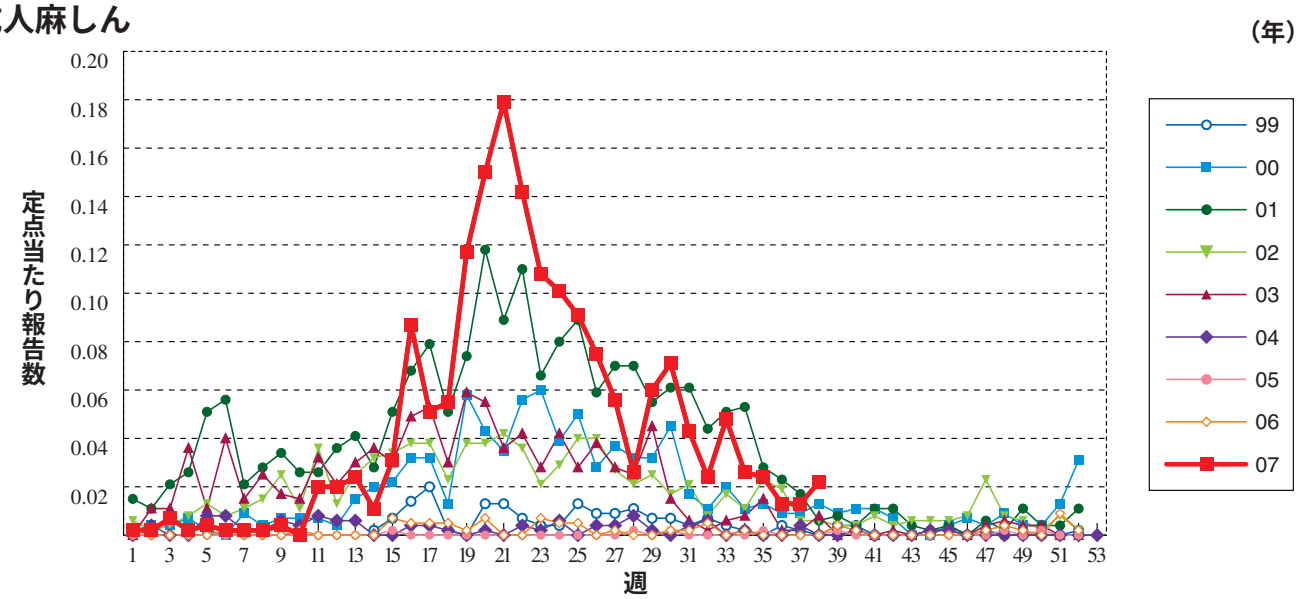
マイコプラズマ肺炎



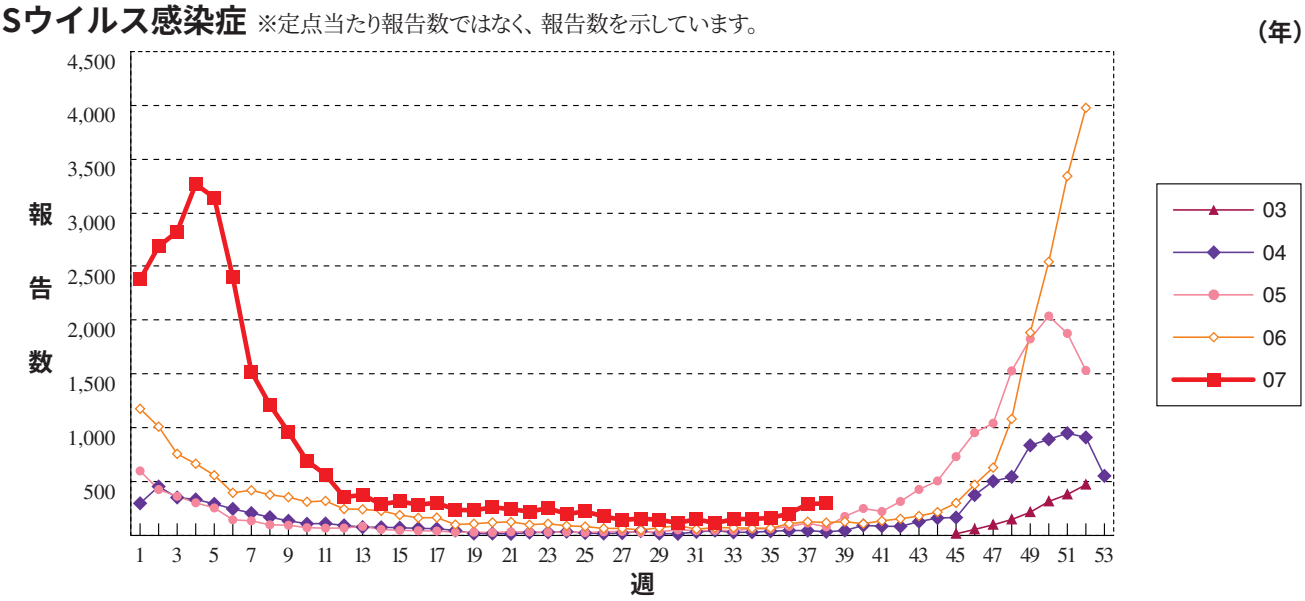
クラミジア肺炎（オウム病を除く）



成人麻しん



RSウイルス感染症 ※定点当たり報告数ではなく、報告数を示しています。



38週のデータ

注1)表中の報告数は9月27日集計分であり、その後の報告は次週以降の累積に反映されます。
2007年4月からの法改正に伴い、疾病の追加および並び順を一部変更しました。

*累積は2007年4月1日以降の報告数である。

報告数・累積報告数，疾病・都道府県別　　2007年38週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		痘そう		南米出血熱		ペスト		マールブルグ病		ラッサ熱		急性灰白髄炎		結核*	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総　数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	173	9836
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	336
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	117
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	73
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	157
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	83
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	64
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	121
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	241
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	141
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	116
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	559
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15	616
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15	819
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	196
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	95
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	100
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	67
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	35
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	138
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	236
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	193
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	868
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	199
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	124
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	323
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	538
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15	436
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	138
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	96
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	54
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	54
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	154
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	278
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	139
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	93
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	72
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	167
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	86
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16	642
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	93
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	186
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	106
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	118
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	200
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	69

*病原体がSARSコロナウイルスであるものに限る。

報告数・累積報告数，疾病・都道府県別　2007年38週

	ジフテリア		重症急性呼吸器症候群*		コレラ		細菌性赤痢		腸管出血性大腸菌感染症		腸チフス		パラチフス		E型肝炎		ウエストナイル熱(ウエストナイル脳炎を含む)	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総　数	-	-	-	-	-	10	3	373	94	3273	4	34	-	13	-	41	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	2	6	3	59	-	1	-	-	-	9	-	-
青森県	-	-	-	-	-	1	-	2	1	33	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	48	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	2	4	56	-	1	-	2	-	2	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	4	1	42	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	7	-	17	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	1	-	1	1	49	-	2	-	1	-	1	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	25	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	1	-	1	3	28	-	-	-	1	-	2	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	59	-	-	-	-	-	1	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	1	-	58	3	114	-	3	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	1	-	36	4	136	-	1	-	1	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	2	-	65	6	391	-	9	-	3	-	2	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	16	6	149	-	-	-	2	-	2	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	26	-	1	-	-	-	1	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	3	73	-	-	-	1	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	3	114	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	32	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	10	-	1	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	8	-	53	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	2	3	31	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	28	-	62	-	-	-	-	-	3	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	23	12	119	-	2	-	-	-	7	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	17	-	1	-	-	-	4	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	1	1	43	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	6	3	72	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	2	-	47	9	345	3	8	-	1	-	1	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	1	-	6	7	136	-	3	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	37	-	-	-	1	-	2	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	2	2	28	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	20	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	2	10	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	65	-	-	-	-	-	2	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	16	1	68	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	3	1	35	-	-	-	-	-	1	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	16	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	10	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	20	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	6	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	1	6	7	166	-	-	-	-	-	1	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	1	1	25	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	82	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	103	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	1	4	64	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	95	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	43	1	1	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	41	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数，疾病・都道府県別 2007年38週

	A型肝炎		エキノコックス症		黄 熱		オウム病		オムスク出血熱		回帰熱		キャサヌル森林病		Q 熱		狂犬病	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	2	114	-	13	-	-	-	25	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-
北海道	-	6	-	10	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	2	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	5	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	1	3	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	1	16	-	3	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	9	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	4	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	5	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	4	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	7	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	8	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	4	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-
愛媛県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	4	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数，疾病・都道府県別 2007年38週

	コクシジオイデス症		サル痘		腎症候性出血熱		西部ウマ脳炎		ダニ媒介脳炎		炭疽		つつが虫病		デング熱		東部ウマ脳炎	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	96	9	68	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
千葉県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	7	-	-
東京都	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	17	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	9	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	4	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	4	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	5	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	1	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-

報告数・累積報告数，疾病・都道府県別　2007年38週

	鳥インフルエンザ		ニパウイルス感染症		日本紅斑熱		日本脳炎		ハンタウイルス肺症候群		Bウイルス病		鼻疽		ブルセラ症		ベネズエラウマ脳炎	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総　数	-	-	-	-	3	49	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	1	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	1	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	1	11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数，疾病・都道府県別　2007年38週

	ヘンドラウイルス感染症		発しんチフス		ボツリヌス症		マラリア		野兎病		ライム病		リッサウイルス感染症		リフトバレー熱		類鼻疽	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総　数	-	-	-	-	-	2	1	36	-	-	1	8	-	-	-	-	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	17	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

*E型肝炎およびA型肝炎を除く。
**ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎およびリフトバレー熱を除く。

報告数・累積報告数，疾病・都道府県別 2007年38週

	レジオネラ症		レプトスピラ症		ロッキー山紅斑熱		アメーバ赤痢		ウイルス性肝炎*		急性脳炎**		クリプトスポリジウム症		クロイツフェルト・ヤコブ病		劇症型溶血性レンサ球菌感染症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	9	449	-	17	-	-	5	570	1	166	-	174	-	6	-	108	1	74
北海道	-	19	-	-	-	-	-	16	-	5	-	5	-	-	-	2	-	5
青森県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	1	-	-
岩手県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-
宮城県	1	11	-	-	-	-	-	23	-	2	-	2	-	-	-	-	-	2
秋田県	-	3	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1
山形県	-	8	-	-	-	-	-	4	-	1	-	3	-	-	-	-	-	2
福島県	-	7	-	-	-	-	-	4	-	2	-	3	-	-	-	1	1	1
茨城県	-	12	-	-	-	-	-	10	-	2	-	8	-	-	-	1	-	3
栃木県	-	4	-	1	-	-	-	5	-	2	-	2	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	8	-	-	-	-	-	4	-	4	-	3	-	-	-	5	-	-
埼玉県	1	22	-	-	-	-	-	20	-	1	-	9	-	-	-	4	-	4
千葉県	-	14	-	-	-	-	-	22	-	-	-	14	-	-	-	6	-	3
東京都	1	40	-	3	-	-	1	127	-	29	-	16	-	1	-	9	-	4
神奈川県	1	32	-	1	-	-	-	58	-	7	-	5	-	1	-	6	-	11
新潟県	-	10	-	1	-	-	-	2	-	-	-	6	-	1	-	5	-	1
富山県	-	9	-	-	-	-	-	2	-	3	-	1	-	-	-	1	-	1
石川県	1	11	-	-	-	-	-	3	-	-	-	2	-	1	-	1	-	-
福井県	-	2	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	5	-	-	-	-	-	4	-	4	-	-	-	-	-	1	-	-
長野県	-	10	-	-	-	-	-	10	1	2	-	3	-	-	-	-	-	3
岐阜県	-	13	-	-	-	-	-	5	-	1	-	-	-	-	-	2	-	-
静岡県	2	23	-	1	-	-	-	17	-	2	-	2	-	-	-	3	-	1
愛知県	-	24	-	-	-	-	-	34	-	6	-	2	-	-	-	5	-	5
三重県	-	7	-	-	-	-	-	5	-	2	-	2	-	-	-	1	-	1
滋賀県	-	6	-	-	-	-	-	9	-	1	-	2	-	-	-	4	-	-
京都府	-	13	-	-	-	-	1	18	-	6	-	5	-	-	-	3	-	-
大阪府	-	28	-	-	-	-	-	60	-	19	-	24	-	-	-	6	-	4
兵庫県	-	16	-	-	-	-	1	28	-	13	-	9	-	-	-	8	-	2
奈良県	-	1	-	-	-	-	-	8	-	2	-	-	-	-	-	-	-	1
和歌山県	-	2	-	-	-	-	-	5	-	2	-	2	-	-	-	2	-	-
鳥取県	-	4	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
島根県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	1	-	2
岡山県	-	7	-	-	-	-	-	5	-	10	-	1	-	-	-	1	-	2
広島県	1	17	-	-	-	-	-	8	-	9	-	2	-	1	-	3	-	3
山口県	-	6	-	-	-	-	-	4	-	-	-	7	-	-	-	2	-	-
徳島県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	1
香川県	-	2	-	-	-	-	-	1	-	2	-	1	-	-	-	1	-	1
愛媛県	1	6	-	-	-	-	-	2	-	1	-	1	-	-	-	5	-	1
高知県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	5	-	-	-	-	-	5	-	1
福岡県	-	15	-	1	-	-	-	22	-	6	-	6	-	1	-	3	-	2
佐賀県	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1
長崎県	-	5	-	-	-	-	-	2	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	5	-	-	-	-	1	7	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-
大分県	-	6	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
宮崎県	-	1	-	1	-	-	1	5	-	2	-	17	-	-	-	1	-	1
鹿児島県	-	4	-	-	-	-	-	2	-	1	-	5	-	-	-	2	-	3
沖縄県	-	4	-	8	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1

報告数・累積報告数，疾病・都道府県別　2007年38週

	後天性免疫不全症候群		ジアルジア症		髄膜炎菌性髄膜炎		先天性風しん症候群		梅毒		破傷風		バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症		バンコマイシン耐性腸球菌感染症		インフルエンザ(H5N1)	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総　数	22	1042	1	36	-	13	-	-	9	494	1	69	-	-	1	54	-	-
北海道	-	15	-	-	-	-	-	-	1	10	-	4	-	-	-	1	-	-
青森県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-
岩手県	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	10	-	-	-	1	-	-	-	7	-	1	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	6	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
山形県	-	4	-	-	-	1	-	-	-	6	-	1	-	-	-	-	-	-
福島県	-	6	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	2	-	-
茨城県	-	15	-	-	-	-	-	-	-	11	-	4	-	-	-	2	-	-
栃木県	-	15	-	-	-	-	-	-	-	3	-	2	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	17	-	-	-	1	-	-	-	6	-	7	-	-	-	-	-	-
埼玉県	2	24	-	-	-	-	-	-	-	18	-	1	-	-	-	1	-	-
千葉県	2	40	-	3	-	1	-	-	-	17	-	3	-	-	-	-	-	-
東京都	9	341	-	12	-	2	-	-	4	104	-	1	-	-	1	12	-	-
神奈川県	-	70	-	7	-	-	-	-	-	32	-	3	-	-	-	13	-	-
新潟県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	4	-	2	-	-	-	-	-	-
富山県	-	1	-	1	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-
石川県	-	4	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	4	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-
長野県	-	12	-	-	-	-	-	-	-	9	-	2	-	-	-	3	-	-
岐阜県	1	15	-	-	-	-	-	-	-	10	-	1	-	-	-	5	-	-
静岡県	-	28	-	-	-	-	-	-	-	13	-	2	-	-	-	3	-	-
愛知県	2	99	-	1	-	1	-	-	1	46	-	-	-	-	-	2	-	-
三重県	-	12	-	1	-	-	-	-	-	10	1	2	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	6	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	13	-	1	-	-	-	-	-	6	-	2	-	-	-	2	-	-
大阪府	-	131	-	6	-	-	-	-	-	24	-	1	-	-	-	1	-	-
兵庫県	1	19	-	-	-	1	-	-	-	9	-	1	-	-	-	2	-	-
奈良県	-	7	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	8	-	-	-	1	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	9	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	16	-	1	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-	1	-	-
山口県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	2	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-
香川県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	7	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	3	5	-	-	-	1	-	-	-	3	-	1	-	-	-	-	-	-
福岡県	2	28	-	-	-	1	-	-	-	30	-	2	-	-	-	1	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	4	-	5	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	8	-	-	-	-	-	-	1	34	-	4	-	-	-	-	-	-
大分県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	3	-	-	-	1	-	-	2	13	-	4	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	4	-	-	-	-	-	-	-	7	-	1	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	20	-	-	-	1	-	-	-	6	-	2	-	-	-	-	-	-

*高病原性鳥インフルエンザを除く。

報告数・定点当り報告数，疾病・都道府県別 2007年38週

	インフルエンザ*		咽頭結膜熱		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水 痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		百 日 咳	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	366	0.08	680	0.23	2298	0.77	8804	2.94	1266	0.42	2316	0.77	539	0.18	2143	0.72	77	0.03
北海道	-	-	7	0.05	172	1.20	162	1.13	79	0.55	104	0.73	26	0.18	68	0.48	4	0.03
青森県	-	-	4	0.10	41	0.98	60	1.43	29	0.69	64	1.52	11	0.26	18	0.43	-	-
岩手県	-	-	1	0.03	18	0.46	73	1.87	15	0.38	100	2.56	12	0.31	25	0.64	-	-
宮城県	4	0.04	23	0.38	25	0.42	146	2.43	36	0.60	156	2.60	29	0.48	47	0.78	-	-
秋田県	-	-	4	0.11	50	1.43	55	1.57	12	0.34	98	2.80	14	0.40	15	0.43	1	0.03
山形県	-	-	4	0.13	43	1.43	76	2.53	16	0.53	87	2.90	11	0.37	35	1.17	1	0.03
福島県	-	-	8	0.17	38	0.79	90	1.88	13	0.27	89	1.85	4	0.08	39	0.81	1	0.02
茨城県	2	0.02	8	0.11	102	1.36	113	1.51	13	0.17	31	0.41	5	0.07	27	0.36	-	-
栃木県	-	-	-	-	34	0.72	75	1.60	28	0.60	24	0.51	10	0.21	35	0.74	4	0.09
群馬県	-	-	2	0.03	36	0.59	204	3.34	14	0.23	15	0.25	8	0.13	57	0.93	3	0.05
埼玉県	1	0.00	30	0.19	217	1.40	590	3.81	58	0.37	137	0.88	23	0.15	106	0.68	1	0.01
千葉県	-	-	15	0.13	88	0.75	305	2.58	30	0.25	143	1.21	23	0.19	101	0.86	11	0.09
東京都	14	0.05	35	0.24	104	0.71	494	3.38	56	0.38	131	0.90	22	0.15	121	0.83	6	0.04
神奈川県	2	0.01	28	0.15	114	0.61	581	3.09	72	0.38	136	0.72	47	0.25	151	0.80	6	0.03
新潟県	-	-	13	0.21	36	0.59	101	1.66	40	0.66	92	1.51	36	0.59	46	0.75	2	0.03
富山県	-	-	14	0.48	27	0.93	122	4.21	13	0.45	10	0.34	5	0.17	21	0.72	-	-
石川県	-	-	8	0.28	29	1.00	93	3.21	20	0.69	6	0.21	1	0.03	18	0.62	-	-
福井県	-	-	5	0.23	15	0.68	110	5.00	2	0.09	1	0.05	8	0.36	15	0.68	1	0.05
山梨県	-	-	1	0.04	5	0.21	44	1.83	11	0.46	14	0.58	6	0.25	4	0.17	-	-
長野県	-	-	26	0.47	47	0.85	125	2.27	24	0.44	53	0.96	32	0.58	32	0.58	2	0.04
岐阜県	-	-	10	0.19	16	0.30	62	1.17	13	0.25	10	0.19	8	0.15	18	0.34	-	-
静岡県	12	0.10	20	0.23	88	1.02	363	4.22	30	0.35	75	0.87	10	0.12	64	0.74	1	0.01
愛知県	1	0.01	22	0.12	87	0.48	458	2.53	51	0.28	108	0.60	18	0.10	123	0.68	1	0.01
三重県	-	-	5	0.11	27	0.60	170	3.78	12	0.27	12	0.27	13	0.29	45	1.00	-	-
滋賀県	-	-	12	0.38	14	0.44	133	4.16	12	0.38	11	0.34	-	-	25	0.78	-	-
京都府	-	-	11	0.15	33	0.44	232	3.09	34	0.45	18	0.24	1	0.01	37	0.49	1	0.01
大阪府	5	0.02	66	0.35	203	1.09	559	2.99	85	0.45	83	0.44	19	0.10	116	0.62	10	0.05
兵庫県	1	0.01	22	0.17	50	0.39	417	3.23	47	0.36	27	0.21	16	0.12	98	0.76	6	0.05
奈良県	-	-	8	0.23	15	0.43	73	2.09	13	0.37	6	0.17	6	0.17	12	0.34	-	-
和歌山県	-	-	7	0.23	12	0.39	66	2.13	12	0.39	20	0.65	5	0.16	21	0.68	2	0.06
鳥取県	-	-	8	0.42	48	2.53	75	3.95	8	0.42	1	0.05	3	0.16	8	0.42	-	-
島根県	-	-	1	0.04	28	1.22	162	7.04	12	0.52	36	1.57	3	0.13	24	1.04	-	-
岡山県	1	0.01	10	0.19	15	0.28	230	4.26	27	0.50	12	0.22	6	0.11	32	0.59	1	0.02
広島県	-	-	52	0.72	35	0.49	233	3.24	35	0.49	13	0.18	12	0.17	50	0.69	5	0.07
山口県	-	-	16	0.33	50	1.02	235	4.80	11	0.22	21	0.43	10	0.20	51	1.04	3	0.06
徳島県	-	-	4	0.17	5	0.22	22	0.96	9	0.39	2	0.09	5	0.22	11	0.48	-	-
香川県	6	0.13	13	0.45	11	0.38	55	1.90	10	0.34	7	0.24	2	0.07	23	0.79	1	0.03
愛媛県	-	-	9	0.24	18	0.49	117	3.16	23	0.62	9	0.24	11	0.30	44	1.19	1	0.03
高知県	-	-	35	1.17	7	0.23	48	1.60	22	0.73	13	0.43	11	0.37	18	0.60	-	-
福岡県	-	-	33	0.28	85	0.71	435	3.63	70	0.58	157	1.31	15	0.13	102	0.85	-	-
佐賀県	-	-	10	0.43	11	0.48	33	1.43	6	0.26	14	0.61	4	0.17	24	1.04	-	-
長崎県	-	-	21	0.48	18	0.41	92	2.09	19	0.43	28	0.64	-	-	32	0.73	2	0.05
熊本県	-	-	17	0.35	24	0.50	160	3.33	15	0.31	18	0.38	-	-	42	0.88	-	-
大分県	1	0.02	14	0.39	70	1.94	238	6.61	37	1.03	39	1.08	13	0.36	38	1.06	-	-
宮崎県	2	0.03	10	0.28	43	1.19	179	4.97	25	0.69	27	0.75	7	0.19	50	1.39	-	-
鹿児島県	2	0.02	8	0.15	35	0.64	226	4.11	27	0.49	14	0.25	7	0.13	33	0.60	-	-
沖縄県	312	5.38	-	-	9	0.26	112	3.29	20	0.59	44	1.29	1	0.03	21	0.62	-	-

*髄膜炎菌性髄膜炎は除く。

報告数・定点当り報告数，疾病・都道府県別 2007年38週

	風しん		ヘルパンギーナ		麻しん(成人麻しんを除く)		流行性耳下腺炎		急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎*		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	7	0.00	2929	0.98	31	0.01	784	0.26	15	0.02	459	0.70	5	0.01	16	0.03	101	0.22
北海道	1	0.01	294	2.06	1	0.01	15	0.10	-	-	15	0.52	-	-	1	0.04	3	0.13
青森県	-	-	82	1.95	-	-	8	0.19	-	-	3	0.27	-	-	-	-	1	0.17
岩手県	-	-	66	1.69	-	-	15	0.38	-	-	4	0.33	-	-	-	-	11	0.55
宮城県	-	-	139	2.32	-	-	26	0.43	4	0.33	-	-	-	-	-	-	6	0.50
秋田県	-	-	40	1.14	-	-	22	0.63	-	-	2	0.29	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	76	2.53	-	-	2	0.07	-	-	1	0.13	-	-	2	0.20	5	0.50
福島県	-	-	90	1.88	-	-	3	0.06	-	-	8	0.67	-	-	-	-	12	1.71
茨城県	-	-	24	0.32	-	-	10	0.13	-	-	22	1.29	-	-	-	-	2	0.15
栃木県	-	-	39	0.83	-	-	15	0.32	-	-	8	0.67	-	-	-	-	3	0.43
群馬県	-	-	110	1.80	-	-	14	0.23	-	-	33	2.36	-	-	1	0.13	6	0.75
埼玉県	-	-	126	0.81	-	-	32	0.21	1	0.03	20	0.50	-	-	-	-	2	0.22
千葉県	1	0.01	121	1.03	1	0.01	20	0.17	3	0.10	37	1.23	-	-	3	0.33	-	-
東京都	1	0.01	97	0.66	1	0.01	27	0.18	2	0.05	20	0.54	-	-	-	-	3	0.13
神奈川県	-	-	136	0.72	2	0.01	35	0.19	1	0.03	44	1.13	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	196	3.21	-	-	29	0.48	-	-	7	0.64	-	-	-	-	1	0.08
富山県	-	-	21	0.72	-	-	6	0.21	-	-	4	0.57	-	-	-	-	2	0.40
石川県	-	-	21	0.72	-	-	8	0.28	-	-	1	0.14	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	14	0.64	-	-	6	0.27	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.17
山梨県	-	-	25	1.04	-	-	-	-	-	-	5	0.56	-	-	-	-	-	-
長野県	1	0.02	120	2.18	-	-	13	0.24	-	-	1	0.09	-	-	-	-	3	0.27
岐阜県	-	-	38	0.72	-	-	7	0.13	-	-	2	0.18	1	0.20	-	-	1	0.20
静岡県	-	-	203	2.36	-	-	18	0.21	-	-	11	0.55	-	-	-	-	2	0.22
愛知県	1	0.01	133	0.73	2	0.01	60	0.33	2	0.06	10	0.29	-	-	1	0.06	7	0.44
三重県	-	-	53	1.18	-	-	4	0.09	-	-	2	0.17	-	-	-	-	2	0.22
滋賀県	-	-	14	0.44	-	-	5	0.16	-	-	1	0.14	-	-	1	0.14	-	-
京都府	-	-	32	0.43	1	0.01	13	0.17	-	-	3	0.17	2	0.29	2	0.29	1	0.14
大阪府	1	0.01	97	0.52	3	0.02	54	0.29	-	-	16	0.40	-	-	-	-	1	0.09
兵庫県	-	-	49	0.38	-	-	46	0.36	-	-	18	0.51	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	10	0.29	-	-	4	0.11	-	-	2	0.22	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	23	0.74	-	-	4	0.13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	9	0.47	-	-	2	0.11	-	-	1	0.33	-	-	1	0.20	-	-
島根県	-	-	8	0.35	-	-	9	0.39	-	-	-	-	-	-	1	0.13	-	-
岡山県	1	0.02	40	0.74	-	-	18	0.33	-	-	14	1.17	1	0.20	-	-	9	1.80
広島県	-	-	28	0.39	3	0.04	9	0.13	-	-	12	0.63	1	0.05	-	-	-	-
山口県	-	-	37	0.76	-	-	13	0.27	-	-	1	0.11	-	-	-	-	3	0.33
徳島県	-	-	3	0.13	-	-	2	0.09	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	16	0.55	-	-	7	0.24	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	38	1.03	-	-	23	0.62	-	-	22	2.75	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	25	0.83	1	0.03	24	0.80	-	-	1	0.33	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	51	0.43	16	0.13	60	0.50	1	0.04	48	1.85	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	3	0.13	-	-	8	0.35	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.17
長崎県	-	-	10	0.23	-	-	20	0.45	1	0.13	8	1.00	-	-	-	-	2	0.17
熊本県	-	-	38	0.79	-	-	15	0.31	-	-	10	1.11	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	44	1.22	-	-	24	0.67	-	-	5	1.00	-	-	2	0.18	1	0.09
宮崎県	-	-	71	1.97	-	-	19	0.53	-	-	9	1.50	-	-	-	-	2	0.29
鹿児島県	-	-	14	0.25	-	-	9	0.16	-	-	3	0.43	-	-	-	-	1	0.08
沖縄県	-	-	5	0.15	-	-	1	0.03	-	-	25	2.50	-	-	1	0.14	7	1.00

報告数・定点当り報告数，疾病・都道府県別 2007年38週

	クラミジア肺炎(オウム病を除く)		成人麻しん		RSウイルス感染症
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数
総　数	7	0.02	10	0.02	299
北海道	-	-	-	-	13
青森県	-	-	-	-	-
岩手県	1	0.05	-	-	2
宮城県	-	-	2	0.17	3
秋田県	-	-	1	0.13	-
山形県	-	-	-	-	-
福島県	1	0.14	-	-	39
茨城県	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	1	0.13	-
埼玉県	-	-	-	-	6
千葉県	1	0.11	-	-	8
東京都	-	-	1	0.04	4
神奈川県	-	-	-	-	5
新潟県	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	4
福井県	-	-	-	-	1
山梨県	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	1
静岡県	-	-	-	-	1
愛知県	4	0.25	2	0.13	3
三重県	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	42
兵庫県	-	-	-	-	5
奈良県	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	2
鳥取県	-	-	-	-	1
島根県	-	-	-	-	4
岡山県	-	-	-	-	6
広島県	-	-	-	-	2
山口県	-	-	-	-	5
徳島県	-	-	-	-	10
香川県	-	-	-	-	19
愛媛県	-	-	2	0.33	4
高知県	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	41
佐賀県	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	1	0.08	-
熊本県	-	-	-	-	5
大分県	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	24
鹿児島県	-	-	-	-	3
沖縄県	-	-	-	-	36

獣医師が届出を行う感染症と対象動物

注)報告数は感染実験等の学術的研究による発生を除く。

報告数・累積報告数，疾病・都道府県別　2007年38週

	エボラ出血熱		マールブルグ病		ペスト		重症急性呼吸器症候群（SARS）						結　核		細菌性赤痢		ウエストナイル熱	
	サル		サル		プレーリードッグ		イタチアナグマ		タヌキ		ハクビシン		サル		サル		鳥類	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総　数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	17	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数，疾病・都道府県別　2007年38週

	エキノコックス症		インフルエンザ(H5N1)	
	犬		鳥類	
	報告数	累積	報告数	累積
総　数	-	-	-	5
北海道	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	1
広島県	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	1
大分県	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	3
鹿児島県	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-

感染症週報　第9巻　第38号　2007年10月5日発行
発　行：国立感染症研究所
厚生労働省健康局結核感染症課
厚生労働省大臣官房統計情報部
事務局：国立感染症研究所感染症情報センター
〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1
ＴＥＬ：03-5285-1111
ＦＡＸ：03-5285-1129
ＵＲＬ：http://idsc.nih.go.jp/index-j.html
＜国立感染症研究所　感染症情報センター＞
http://www.mhlw.go.jp/
＜厚生労働省＞
http://www.forth.go.jp/
＜旅行者のための海外感染症情報(厚生労働省検疫所)＞

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症情報センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上にて訂正させていただきます。

「感染症の話」及び「読者のコーナー」の回答欄の内容に関する責は、それぞれの執筆者及び回答者に属しますが、内容に関するご質問、ご意見については事務局でお受けいたします。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。